

Ⅱ. 調査結果(質問紙調査)

1. 施設情報

(1)障害者専用・優先スポーツ施設の定義

藤田らと笹川スポーツ財団は、「障害者スポーツ施設に関する研究」(2010 年度、2012 年度、2015 年度)において、障害者の運動・スポーツ活動のために、整備・運営されている施設について、設置根拠となる法律や整備のための財源に基づき整理した。2015 年度調査では、全国の障害者専用・優先スポーツ施設は 139 施設となっている。本調査で対象とした施設は以下のとおりである。

- ①身体障害者福祉センター(A型)
- ②旧勤労身体障害者体育施設
- ③旧勤労身体障害者教養文化体育施設(サン・アビリティーズ)
- ④身体障害者福祉センター(B型)
- ⑤都道府県および政令指定都市リハビリテーションセンター
- ⑥障害者更生センター

これらの他にも、各地に障害者が専用で利用する施設や優先的に利用できる施設があることから、障害者専用・優先スポーツ施設の要件を以下の2点とした。

- 要件1 体育館、またはプールのいずれかを所有している
- 要件2 利用を希望する個人、および団体に施設を貸し出している
(障害者の個人利用と団体利用がある)

(2) 障害者専用・優先スポーツ施設の設置状況

我が国の障害者専用・優先スポーツ施設は 2015 年度調査では 139 施設であったが、本調査では 141 施設となった(図表 1-1)。141 施設の施設名、住所、設置分類、設置年の一覧については図表 1-2 に示した。

図表 1-1 障害者専用・優先スポーツ施設数の遷移

		施設数	備考
2015年度調査時の施設数		139	
(－)	閉鎖した施設	8	
	上記要件を満たさなくなった施設 (障害児・者の活動が見られなかった施設)	2	
2015年度調査からの継続施設		129	(改修で休館中の2施設含む)
(＋)	新規に設置された施設	4	
	上記要件を満たした施設 (新たに障害児・者の活動が判明した施設)	8	
2018年度調査後の施設数		141	

図表 1-2 障害者専用・優先スポーツ施設一覧

都道府県	番号	名称	住所	施設分類	設置年	設置者
北海道	1	サン・アビリティーズくしろ	〒084-0905 北海道釧路市島取南7-2-20	教・文体育	1982	市区町村
	2	札幌市身体障害者福祉センター	〒063-0802 北海道札幌市西区二十四軒2条6丁目	A型/B型	A型1978年 B型1987年	市区町村
	3	苫小牧市福祉ふれあいセンター*	〒053-0045 北海道苫小牧市双葉町3-7-3	B型	2016	市区町村
	4	函館市総合福祉センター	〒040-0063 北海道函館市若松町33-6	A型	1994	市区町村
	5	旭川市障害者福祉センター おびった	〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番7号	その他	2002	市区町村
青森県	6	青森県身体障害者福祉センター (ねむのき会館)	〒030-0122 青森県青森市大字野尻字今田52-4	A型	1973	都道府県
	7	八戸福祉会館	〒031-0001 青森県八戸市類家4-3-1	体育	1978	市区町村
	8	弘前市身体障害者福祉センター	〒036-8057 青森県弘前市大字八幡町1-9-17	B型	1981	市区町村
岩手県	9	ふれあいランド岩手	〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳8地割1-3	その他	1994	都道府県
	10	岩手県勤労身体障がい者体育館*	〒020-0122 岩手県盛岡市青山4-12-31	体育	1977	都道府県
	11	障がい者ふれあい交流施設 サン・アビリティーズ一関	〒021-0821 岩手県一関市三関字桜町36-3	教・文体育	1985	市区町村
宮城県	12	宮城県障害者総合体育センター	〒983-0836 宮城県仙台市宮城野区幸町4-6-1	体育	1974	都道府県
	13	元気フィールド仙台	〒983-0039 宮城県仙台市宮城野区新田東4-1-1	その他	2007	市区町村
	14	宮城県障害者福祉センター	〒983-0836 宮城県仙台市宮城野区幸町4-6-2	A型	1983	都道府県
秋田県	15	秋田県勤労身体障害者スポーツセンター	〒010-1602 秋田県秋田市新屋下川原町2-4	体育	1976	都道府県
	16	大館市立中央公民館 (旧 サンアビリティーズ大館)	〒017-0822 秋田県大館市桜町南45-1	教・文体育	1985	市区町村
	17	秋田県社会福祉会館	〒010-0922 秋田県秋田市旭北栄町1-5	A型	1968	都道府県
山形県	18	山形市福祉体育館	〒990-0021 山形県山形市小白川町2-3-33	体育	1981	市区町村
福島県	19	いわきサン・アビリティーズ	〒972-8321 福島県いわき市常盤湯本町上浅貝5-1	教・文体育	1986	市区町村
	20	福島県勤労身体障がい者体育館	〒961-8061 福島県西白河郡西郷村大字真船字芝原29-3	体育	1976	都道府県
	21	郡山市障害者福祉センター	〒963-8833 福島県郡山市香久池1-15-15	B型/その他	1983	市区町村
茨城県	22	水戸サン・アビリティーズ	〒310-0913 茨城県水戸市見川町2563-705	教・文体育	1983	市区町村
栃木県	23	宇都宮市サン・アビリティーズ	〒321-0112 栃木県宇都宮市屋敷町251-1	教・文体育	1984	市区町村
	24	とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター* (わかさアリーナ)	〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1丁目10番6号	その他	2016	都道府県
	25	足利市民プラザ身体障害者スポーツセンター	〒326-0823 栃木県足利市朝倉町264	体育	1979	市区町村
群馬県	26	群馬県立ふれあいスポーツプラザ	〒379-2214 群馬県伊勢崎市下触町238-3	その他	1991	都道府県
	27	ハーモニー高崎ヶアセンター	〒370-0035 群馬県高崎市柴崎町1746	その他	1995	市区町村
	28	前橋サン・アビリティーズ	〒371-0816 群馬県前橋市上佐島町539-2	教・文体育	1983	市区町村
	29	群馬県立ゆうあいビック記念温水プール	〒377-0006 群馬県渋川市行幸田3011	その他	1997	都道府県
埼玉県	30	埼玉県障害者交流センター	〒330-8522 埼玉県さいたま市浦和区大原3-10-1	A型	1990	都道府県
	31	所沢サン・アビリティーズ	〒359-0025 埼玉県所沢市大字上安松1286-7	体育	1984	市区町村
	32	埼玉県総合リハビリテーションセンター	〒362-0057 埼玉県上尾市西貝塚148-1	リハ/リ/その他	1982	都道府県
千葉県	33	戸田市立心身障害者福祉センター	〒335-0015 埼玉県戸田市川岸2-4-8	B型	1986	市区町村
	34	千葉県障害者スポーツレクリエーションセンター (サン・アビリティーズ千葉)	〒263-0016 千葉県千葉市稲毛区天台6-5-1	その他	2003	都道府県
	35	千葉市障害者福祉センター	〒260-0844 千葉県千葉市中央区千葉寺町1208-2	B型	1999	市区町村
	36	千葉市療育センターふれあいの家	〒261-0003 千葉県千葉市美浜区高浜4-8-3	B型	1980	市区町村
東京都	37	東京都多摩障害者スポーツセンター*	〒186-0003 東京都国立市富士見台2-1-1	A型	1984	都道府県
	38	東京都障害者総合スポーツセンター	〒114-0033 東京都北区十条台1-2-2	A型	1986	都道府県
	39	全国身体障害者総合福祉センター (戸山サンライズ)	〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1	A型	1984	国
	40	港区立障害者保健福祉センター	〒105-0014 東京都港区芝1-8-23	その他	1998	市区町村
	41	八王子市東浅川保健福祉センター	〒193-0834 東京都八王子市東浅川町551-1	B型	1991	市区町村
神奈川県	42	三鷹市北野ハビネスセンター	〒181-0003 東京都三鷹市北野1-9-29	B型	1983	市区町村
	43	障害者スポーツ文化センター (横浜ラポール)	〒222-0035 神奈川県横浜港北区島山町1752	A型	1992	市区町村
	44	藤沢市太陽の家 (心身障がい者福祉センター)	〒251-0037 神奈川県藤沢市鶴沼海岸6-6-12	体育	1980	市区町村
	45	サン・アビリティーズ相模原 (けやき体育館)	〒252-0236 神奈川県相模原市中央区富士見6-6-23	教・文体育	1985	市区町村

都道府県	番号	名称	住所	施設分類	設置年	設置者
新潟県	46	新潟県障害者交流センター (新潟ふれあいプラザ)	〒950-0121 新潟県新潟市江南区亀田向陽1-9-1	A型	1997	都道府県
	47	上越市勤労身体障害者体育館	〒943-0805 新潟県上越市木田1-17-33	体育	1979	市区町村
富山県	48	富山県勤労身体障害者体育センター	〒939-3521 富山県富山市水橋島等298-2	体育	1979	市区町村
	49	サン・アビリティーズ滑川	〒936-0023 富山県滑川市柳原1537-2	教・文体育	1984	市区町村
石川県	50	富山県障害者福祉センター	〒939-8222 富山県富山市蝶川15	A型	1998	市区町村
	51	小松サン・アビリティーズ	〒923-0302 石川県小松市符津町念仏ケ2-7	教・文体育	1985	市区町村
	52	白山市身体障害者・福祉センターこがね荘	〒924-0863 石川県白山市博労二丁目50	A型	1983	市区町村
福井県	53	金沢市障害者高齢者体育館 (駅西むつみ体育館)	〒920-0025 金沢市駅西本町2丁目3-27	その他	1982	市区町村
	54	福井県社会福祉センター	〒910-8516 福井県福井市光陽2-3-22	A型	1980	都道府県
山梨県	55	あけぼの医療福祉センター	〒407-0046 山梨県韮崎市旭町上条南割3251-1	体育／その他	1975	都道府県
長野県	56	長野県障がい者福祉センター (サンアップル)	〒381-0008 長野県長野市下駒沢586	A型	1998	都道府県
	57	長野市立障害者福祉センター	〒381-0904 長野県長野市大字鶴賀276番地10	B型	1982	市区町村
	58	サンスポーツ駒ヶ根	〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂1694長野県看護大学プール棟内	その他	2003	都道府県
岐阜県	59	勤労身体障害者等市民プール	〒503-0804 岐阜県大垣市仲之江3-1-3	リハビリ／体育	1977	市区町村
	60	岐阜県福祉友愛プール*	〒500-8368 岐阜県岐阜市鷺山向井2563-18	その他	2016	都道府県
静岡県	61	静岡県身体障害者福祉センター	〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1-70	A型	1983	都道府県
	62	静岡市清水みなとふれあいセンター	〒424-0905 静岡県静岡市清水区駒越西2-10-10	B型	1982	市区町村
	63	浜松市発達医療総合福祉センター はままつ友愛のさと	〒434-0023 静岡県浜松市浜北区高蘭775-1	その他	1994	市区町村
愛知県	64	名古屋身体障害者スポーツセンター	〒465-0055 愛知県名古屋市中東区勢子坊2-1501	A型	1981	市区町村
	65	名古屋市総合リハビリテーションセンター (福祉スポーツセンター)	〒467-8622 愛知県名古屋市中東区瑞穂区彌富町字密柑山1-2	A型	1989	市区町村
	66	愛知勤労身体障害者体育館	〒495-0001 愛知県稲沢市祖父江町祖父江寺西14-5	体育	1978	都道府県
	67	サン・アビリティーズ豊田	〒471-0062 愛知県豊田市西山町5-2-6	教・文体育	1983	都道府県
	68	春日井市福祉文化体育館 (サン・アビリティーズ春日井)	〒486-0857 愛知県春日井市浅山町1-2-61	教・文体育	1984	市区町村
	69	安城市総合福祉センター	〒446-0046 愛知県安城市赤松町大北78番地1	B型	1991	市区町村
	70	刈谷市心身障害者福祉会館	〒448-0024 愛知県刈谷市下重原町3丁目32番地	その他	1987	市区町村
	71	碧南市身体障害者福祉センター	〒447-0869 愛知県碧南市山神町8-35	B型	1982	市区町村
	72	豊田市障がい者総合福祉会館 障がい者福祉会館	〒471-0062 愛知県豊田市西山町5丁目2番地6	B型	1987	市区町村
	73	豊橋市障害者福祉会館 さくらピア	〒440-0812 愛知県豊橋市東新町15	A型	1982	市区町村
三重県	74	三重県身体障害者総合福祉センター	〒514-0113 三重県津市一身田大古曾670-2	A型	1986	都道府県
	75	四日市市障害者体育センター	〒510-0943 三重県四日市市西日野町4070-1	体育	1979	都道府県
滋賀県	76	滋賀県立障害者福祉センター	〒525-0072 滋賀県草津市笠山8-5-130	A型	1990	都道府県
	77	信楽体育館	〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野1310	体育	1978	市区町村
	78	野洲市なかよし交流館	〒520-2351 滋賀県野洲市富波甲1339-24	その他	2007	市区町村
京都府	79	京都府障害者教養文化・体育会館	〒601-8155 京都府京都市南区上鳥羽塔ノ森上河原37-4	教・文体育	1987	市区町村
	80	京都府障害者スポーツセンター	〒606-8106 京都府京都市左京区高野玉岡町5	A型	1988	市区町村
	81	府立心身障害者福祉センター「サン・アビリティーズ城陽」	〒610-0113 京都府城陽市中戸原	教・文体育	1983	都道府県
大阪府	82	大阪府立福スポーツセンター	〒562-0015 大阪府箕面市福6-15-26	その他	1996	都道府県
	83	大阪市長居障がい者スポーツセンター	〒546-0034 大阪府大阪市東住吉区長居公園1-32	A型	1974	市区町村
	84	大阪市舞洲障がい者スポーツセンター (アミティ舞洲)	〒554-0041 大阪府大阪市此花区北港白津2-1-46	A型	1997	市区町村
	85	大阪府立障がい者交流促進センター (ファインプラザ大阪)	〒590-0137 大阪府堺市南区城山台5-1-2	A型	1986	都道府県
	86	堺市立健康福祉プラザスポーツセンター	〒590-0808 大阪府堺市堺区旭ヶ丘中町4-3-1	A型	2012	市区町村
	87	八尾市立障害者総合福祉センター	〒581-0081 大阪府八尾市南本町8丁目4番5号	B型	2004	市区町村

都道府県	番号	名称	住所	施設分類	設置年	設置者
兵庫県	88	兵庫県立障害者スポーツ交流館	〒651-2181 兵庫県神戸市西区曙町1070	リハビリ/体育	2006	都道府県
	89	オージスポーツ神戸福祉スポーツセンター	〒651-0086 兵庫県神戸市中央区磯上通3-1-32	その他	1994	市区町村
	90	しあわせの村	〒651-1106 兵庫県神戸市北区1番1号	その他	1989	市区町村
	91	西宮市総合福祉センター	〒662-0913 兵庫県西宮市染殿町8-17	A型	1985	市区町村
	92	勤労者体育館 (サン・アビリティーズにしのみや)	〒662-0912 兵庫県西宮市松原町2-41	教・文体育	1986	市区町村
	93	神戸市障害者福祉センター*	〒650-0016 兵庫県神戸市中央区橋通3-4-1	その他	1969	市区町村
	94	神戸市立王子スポーツセンター	〒657-0805 兵庫県神戸市灘区青谷町1丁目1-1	その他	1978	市区町村
	95	伊丹市立障害者福祉センター (アイ愛センター)	〒664-0015 兵庫県伊丹市昆陽池2-10	B型	1991	市区町村
	96	尼崎市立身体障害者福祉センター	〒661-0024 兵庫県尼崎市三反田町1丁目1番1号	B型	1985	市区町村
	97	芦屋市保健福祉センター	〒659-0051 芦屋市具川町14番9号	その他	2010	市区町村
98	明石市総合福祉センター	〒673-0037 明石市貴崎1丁目5-13	その他	1991	市区町村	
99	姫路市立障害者体育館	〒670-0806 姫路市増位新町二丁目37 総合福祉通園センター	その他	2010	市区町村	
奈良県	100	奈良県心身障害者福祉センター	〒636-0344 奈良県磯城郡田原本町宮森34-4	A型	1979	都道府県
	101	奈良市総合福祉センター	〒631-0801 奈良県奈良市左京5-3-1	教・文体育	1986	市区町村
	102	天理市障害者ふれあいセンター	〒632-0052 奈良県天理市柳本町719	教・文体育	1983	市区町村
和歌山県	103	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	〒641-0014 和歌山県和歌山市毛尾1437-218	その他	2009	都道府県
鳥取県	104	鳥取県立障害者体育センター	〒680-0947 鳥取県鳥取市湖山町西3-129	体育	1977	都道府県
	105	米子サン・アビリティーズ	〒683-0003 鳥取県米子市皆生3-16-20	教・文体育	1987	市区町村
島根県	106	島根県立はつらつ体育館	〒690-0015 島根県松江市上乃木7-1-27	体育	1979	都道府県
	107	サン・アビリティーズいずも	〒693-0002 島根県出雲市今市町北本町3-1-20	教・文体育	1987	市区町村
岡山県	108	岡山市障害者体育センター	〒700-0843 岡山県岡山市北区二日市町56	体育	1981	市区町村
広島県	109	広島市心身障害者福祉センター	〒732-0052 広島県広島市東区光町2-1-5	A型	1983	市区町村
	110	広島県立障害者リハビリテーションセンター スポーツ交流センター	〒739-0036 広島県東広島市西条町田口295-3	A型	1996	都道府県
	111	福山市障害者体育センター	〒721-0964 広島県福山市港町1-11-10	体育	1977	市区町村
山口県	112	下関市障害者スポーツセンター	〒751-0823 山口県下関市貴船町3-4-1	体育	1978	市区町村
	113	サン・アビリティーズ光	〒743-0075 山口県光市室積沖田6-1	教・文体育	1987	市区町村
	114	山口県身体障害者福祉センター	〒753-0092 山口県山口市八幡馬場36-1	A型	1974	都道府県
徳島県	115	徳島県立障がい者交流プラザ	〒770-0005 徳島県徳島市南矢三町2-1-59	その他	2006	都道府県
香川県	116	かがわ総合リハビリテーション福祉センター	〒761-8057 香川県高松市田村町1114	リハビリ/A型/体育	1986	都道府県
愛媛県	117	愛媛県身体障がい者福祉センター	〒790-0843 愛媛県松山市道後町2-12-11	A型	1982	都道府県
	118	サン・アビリティーズ今治	〒799-1502 愛媛県今治市喜田村2-1-10	教・文体育	1986	市区町村
高知県	119	高知県立障害者スポーツセンター	〒781-0313 高知県高知市春野町内ノ谷1-1	体育	1996	都道府県
福岡県	120	福岡市立障がい者スポーツセンター (さん・さんプラザ)	〒815-0031 福岡県福岡市南区清水1-17-15	A型	1984	市区町村
	121	クローバープラザ	〒816-0804 福岡県春日市原町3-1-7	その他	1996	都道府県
	122	北九州市障害者スポーツセンター アレアス	〒802-0061 北九州市小倉北区三郎丸3丁目4番1号	その他	2012	市区町村
	123	サン・アビリティーズいづか	〒820-0011 福岡県飯塚市柏の森956-4	教・文体育	1983	市区町村
	124	サン・アビリティーズおおむた	〒836-0004 福岡県大牟田市大字手鎌1380-3	教・文体育	1984	都道府県
	125	早良障がい者フレンドホーム	〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜1丁目4-1	B型	1994	市区町村

都道府県	番号	名 称	住 所	施設分類	設置年	設置者
佐賀県	126	勤労身体障害者教養文化体育館	〒840-0851 佐賀県佐賀市天祐1-8-5	教・文体育	1983	都道府県
長崎県	127	長崎市障害福祉センター (もちまちハートセンター)	〒852-8104 長崎県長崎市茂里町2-41	A型	1992	市区町村
	128	諫早市新道福祉交流センター	〒854-0045 長崎県諫早市新道町999-1	体育	1968	市区町村
	129	サン・アビリティーズ佐世保	〒857-0852 長崎県佐世保市千尽町3-100	教・文体育	1986	市区町村
熊本県	130	熊本県身体障がい者福祉センター (熊本勤労身体障害者体育館)	〒861-8039 熊本県熊本市長嶺南2-3-2	A型ノ体育	1975	都道府県
	131	宇城市松橋勤労身体障害者教養文化体育施設 (希望の里サン・アビリティーズ)	〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福1786	教・文体育	1987	市区町村
大分県	132	あすびおおいだ (大分県身体障害者福祉センター)	〒870-0907 大分県大分市大津町2-1-41	A型	1986	都道府県
	133	別府市身体障害者福祉センター	〒874-0835 大分県別府市大字鶴見4310-2	体育	1975	市区町村
	134	国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局 別府重度障害者センター	〒874-0904 大分県別府市南荘園町2組	リハビ'リ	1952	国
宮崎県	135	宮崎市身体障がい者体育センター	〒880-0916 宮崎県宮崎市大字恒久字西原5132	体育	1980	市区町村
	136	都城市勤労身体障害者教養文化施設 (サン・アビリティーズ都城)	〒885-0094 宮崎県都城市都原町3369	教・文体育	1985	市区町村
鹿児島県	137	サン・アビリティーズ川内	〒895-0005 鹿児島県薩摩川内市永利町4107-2	教・文体育	1988	市区町村
	138	鹿児島県障害者自立交流センター	〒890-0021 鹿児島県鹿児島市小野1-1-1 ハートピアかごしま3F	A型	2000	都道府県
	139	心身障害者総合福祉センター (ゆうあい館)	〒890-0067 鹿児島県鹿児島市真砂本町58番30号	B型	1987	市区町村
	140	知的障害者福祉センター ふれあい館	〒891-0102 鹿児島市星ヶ峯2丁目1-1	その他	2000	市区町村
沖縄県	141	浦添市身体障がい者福祉協会 (サン・アビリティーズうらそえ)	〒901-2126 沖縄県浦添市宮城4-11-1	教・文体育	1985	市区町村

注) 施設番号が白抜きの 26 施設は、(公財)日本障がい者スポーツ協会の「障がい者スポーツセンター協議会[※]」に加盟。

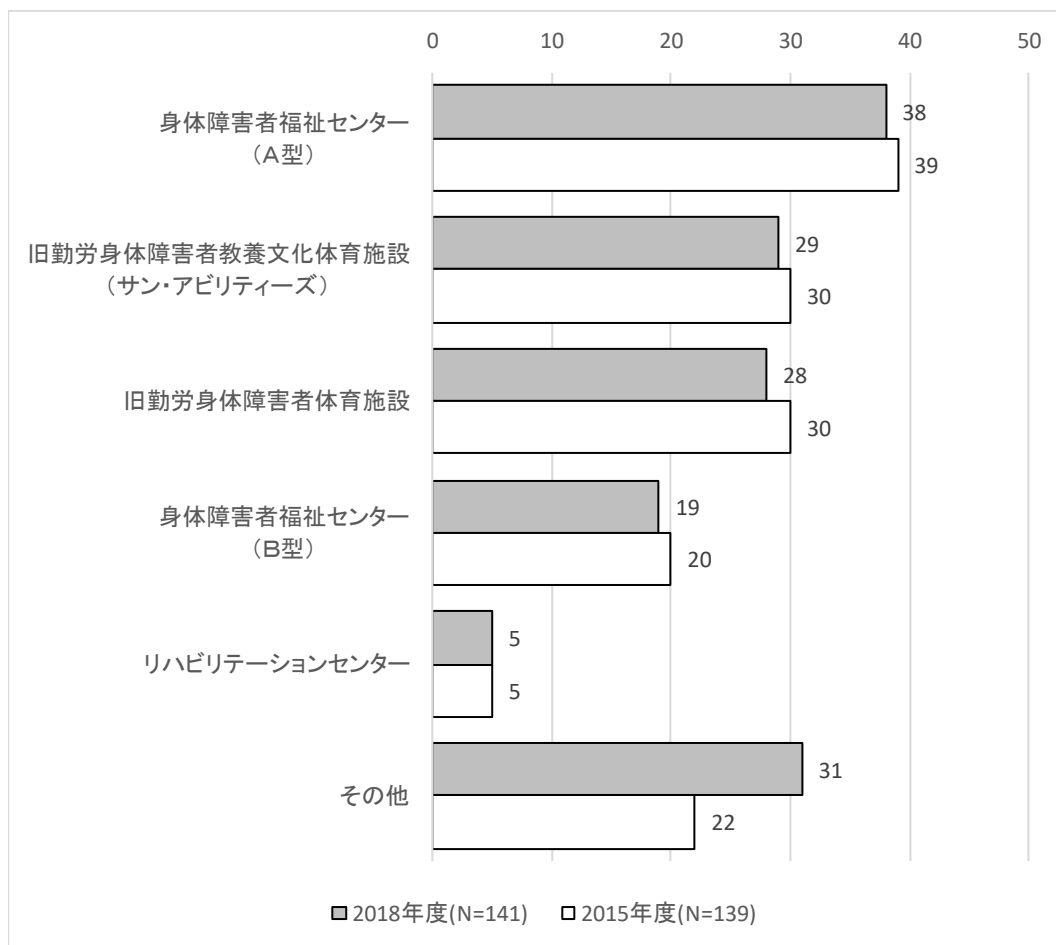
※障がい者スポーツセンター協議会は、施設の運営における諸問題等に関する意見交換や交流の場として
1984年に「身体障害者スポーツセンター協議会(現・障がい者スポーツセンター協議会)」として発足した。

- 3. 「苫小牧市心身障害者福祉センター」が 2016 年に閉鎖し、「苫小牧市福祉ふれあいセンター」が新設。
- 10. 「岩手県勤労身体障がい者体育館」は、耐震工事で休館中。
- 24. 「若草アリーナ」が 2016 年に閉鎖し、「とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター(わかくさアリーナ)」が新設。
- 37. 「東京都多摩障害者スポーツセンター」は、改修中。
- 60. 「旧福祉友愛プール」が 2016 年に閉鎖し、「岐阜県福祉友愛プール」が新設。
- 93. 「神戸市心身障害福祉センター」が 2017 年に「神戸市障害者福祉センター」に機能移転。

2. 施設分類

施設分類別に障害者専用・優先スポーツ施設をみると、「身体障害者福祉センター(A型)」が38施設で最も多く、ついで「旧勤労身体障害者教養文化体育施設(サン・アビリティーズ)」が29施設、「旧勤労身体障害者体育施設」が28施設、「身体障害者福祉センター(B型)」が19施設であった(図表2-1)。2015年度調査から「その他」が増加したが、「その他」には総合福祉センター、地域活動支援センター、福祉交流施設、社会福祉施設などがあった。

図表 2-1 障害者専用・優先スポーツ施設の施設分類(複数回答)



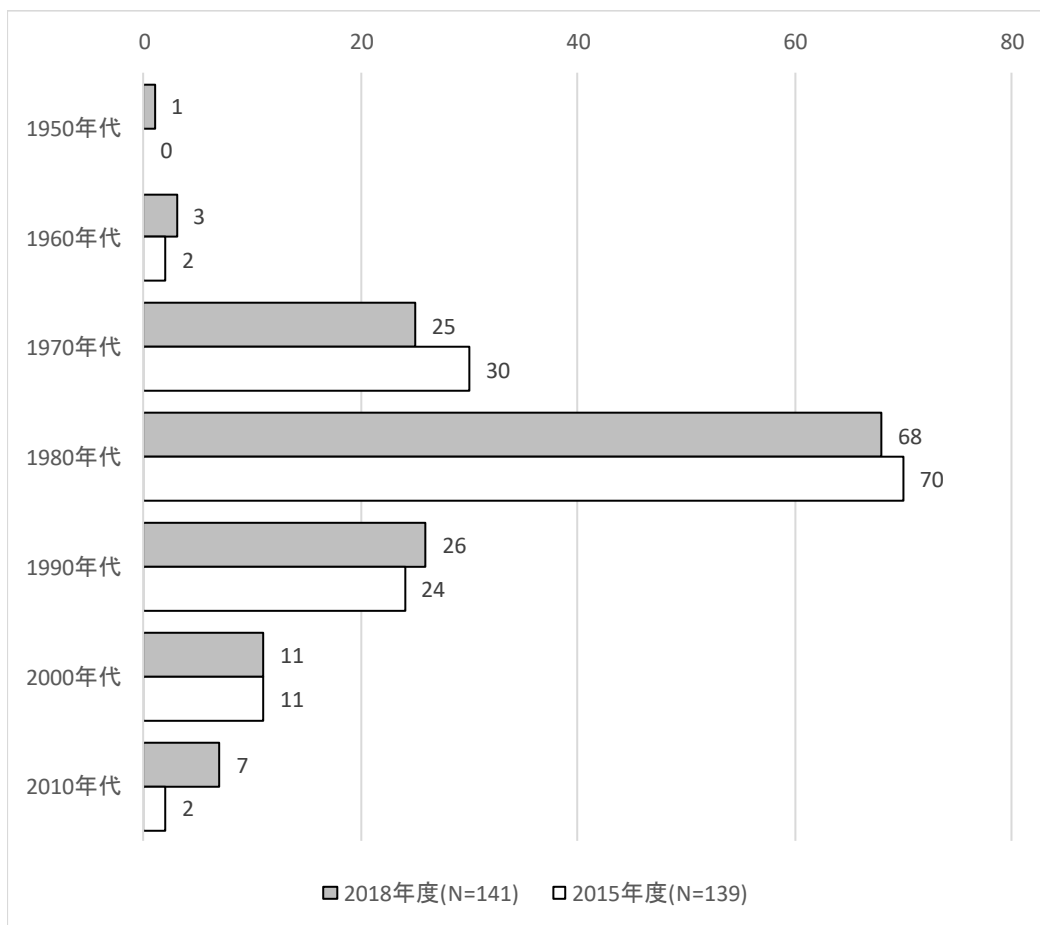
注) 施設によっては、複数の機能を有する施設があるため、複数回答としている。

注) 回収した108施設で変更があった施設情報のみ更新、それ以外は前回の調査結果を反映している。

3. 障害者専用・優先スポーツ施設の設置年と設置者

障害者専用・優先スポーツ施設の設置年代別¹の設置数の推移をみると、1980年代が約半数となる68施設で最も多く、ついで「1990年代」(26施設)、「1970年代」(25施設)だった(図表3-1)。2015年度調査以降に新設されたのは、「苫小牧市福祉ふれあいセンター」「とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター(わかくさアリーナ)」「岐阜県福祉友愛プール」の3施設で、いずれも2016年に設置された。

図表 3-1 障害者専用・優先スポーツ施設の設置年

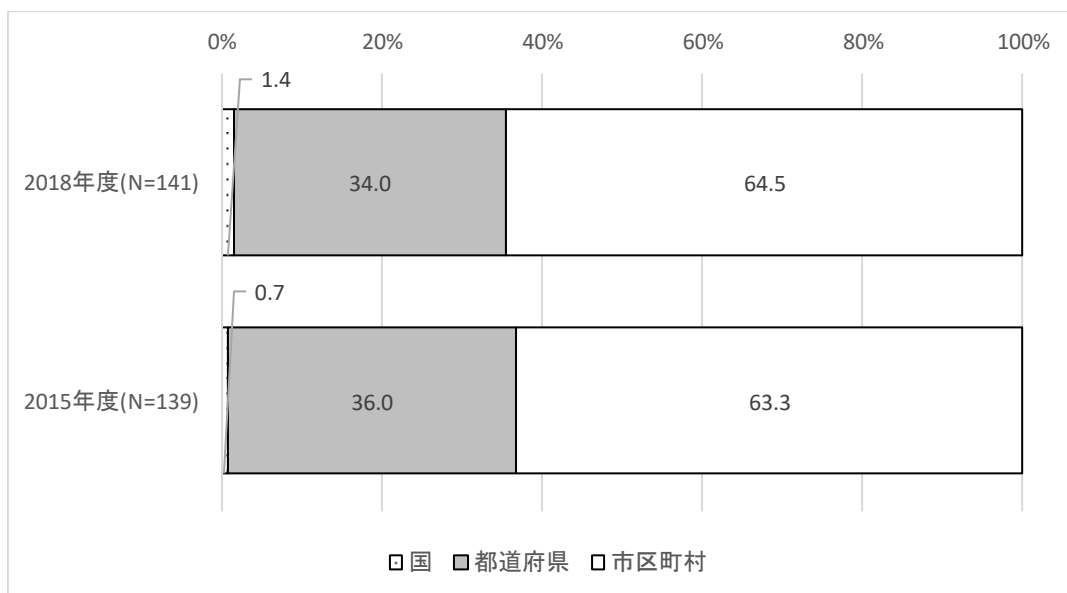


注)回収した108施設で変更があった施設情報のみ更新、それ以外は前回の調査結果を反映している。

¹ 設置後、改修している施設もあるが、ここでは、改修年ではなく設置年を記載している。

障害者専用・優先スポーツ施設の設置者をみると、「市区町村」が 64.5%と最も多く、ついで「都道府県」の 34.0%だった(図表 3-2)。2015 年と調査と比べても大きな違いはみられなかった。

図表 3-2 障害者専用・優先スポーツ施設の設置者

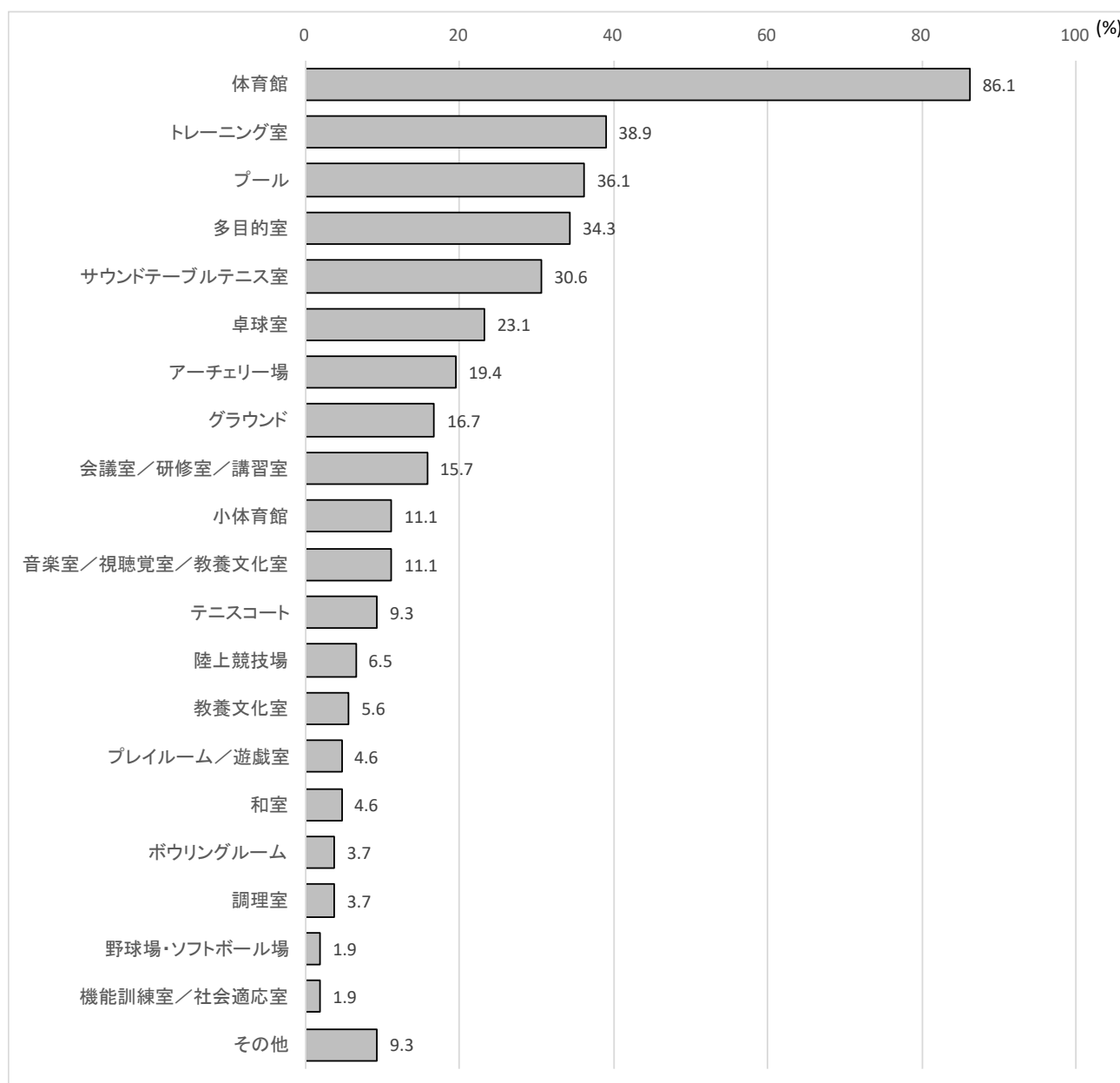


注)回収した 108 施設で変更があった施設情報のみ更新、それ以外は前回の調査結果を反映している。

4. 障害者専用・優先スポーツ施設に付帯する施設

障害者専用・優先スポーツ施設の付帯施設をみると、「体育館」が86.1%と最も多く、ついで「トレーニング室」(38.9%)、「プール」(36.1%)、「多目的室」(34.3%)、「サウンドテーブルテニス室」(30.6%)だった(図表 4-1)。「その他」には、スケートボードパーク、重度体育室、ゲートボール場、クラフトルームなどがあった。

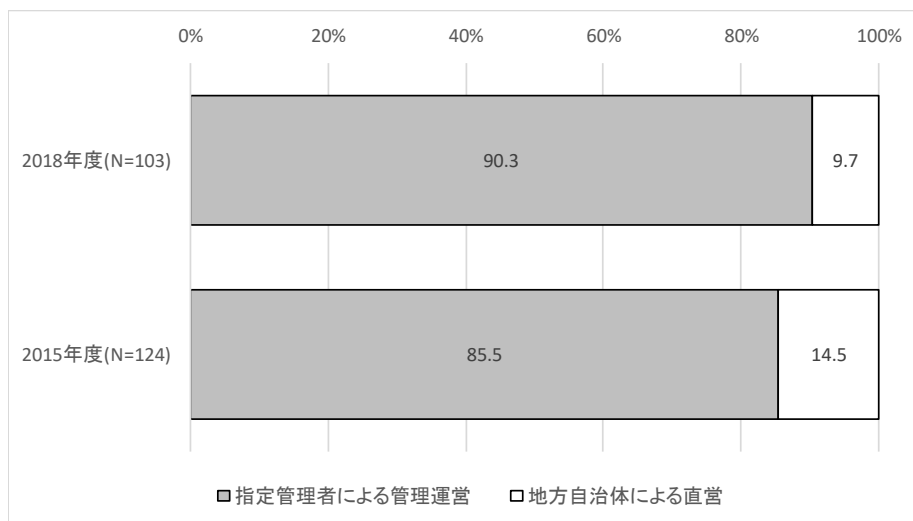
図表 4-1 障害者専用・優先スポーツ施設の付帯する施設(N=108)



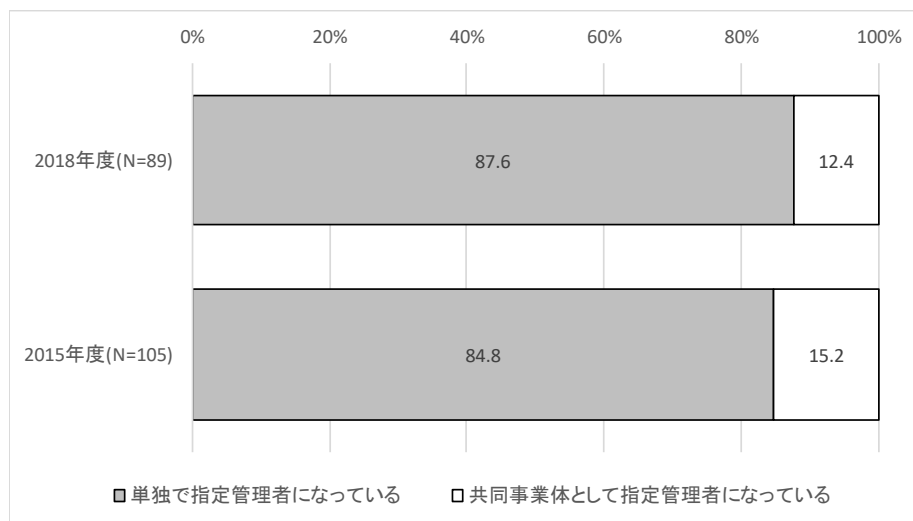
5. 障害者専用・優先スポーツ施設の管理運営状況

障害者専用・優先スポーツ施設の管理運営状況をみると、「指定管理者による管理運営」が90.3%、「地方自治体による直営」は9.7%だった(図表 5-1)。2015年度調査と大きな変化はみられなかった。障害者専用・優先スポーツ施設の指定管理の事業形態をみると、「単独で指定管理者になっている」が87.6%、「共同事業体で指定管理者になっている」が12.4%だった(図表 5-2)。2015年度調査と大きな違いはみられなかった。

図表 5-1 障害者専用・優先スポーツ施設の管理運営状況

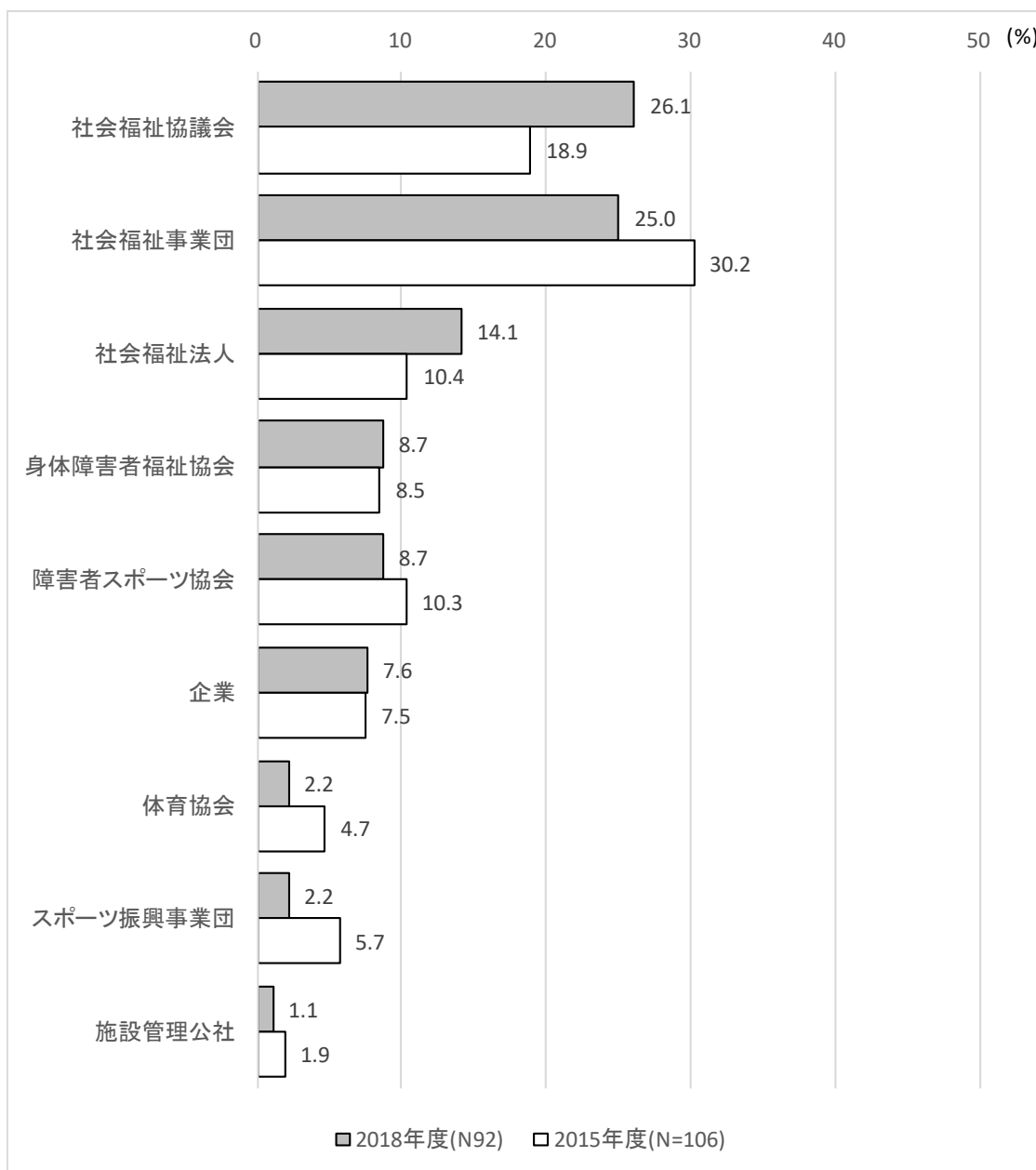


図表 5-2 障害者専用・優先スポーツ施設の指定管理の事業形態

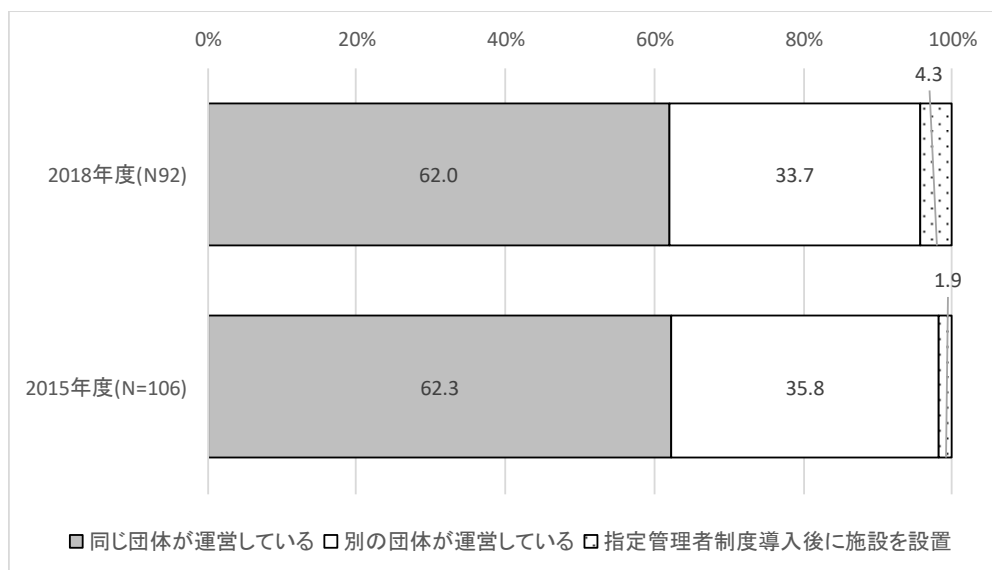


障害者専用・優先スポーツ施設の指定管理者の団体としては、「社会福祉協議会」と「社会福祉事業団」がそれぞれ約4分の1と多く、ついで「社会福祉法人」の14.1%だった(図表5-3)。障害者専用・優先スポーツ施設の指定管理者制度導入以前の施設の運営状況を見ると、「同じ団体が運営していた」が約6割と経年による違いはみられなかった(図表5-4)。最新の指定管理期間は、「4～5年」が約7割で経年による違いはみられなかった(図表5-5)。

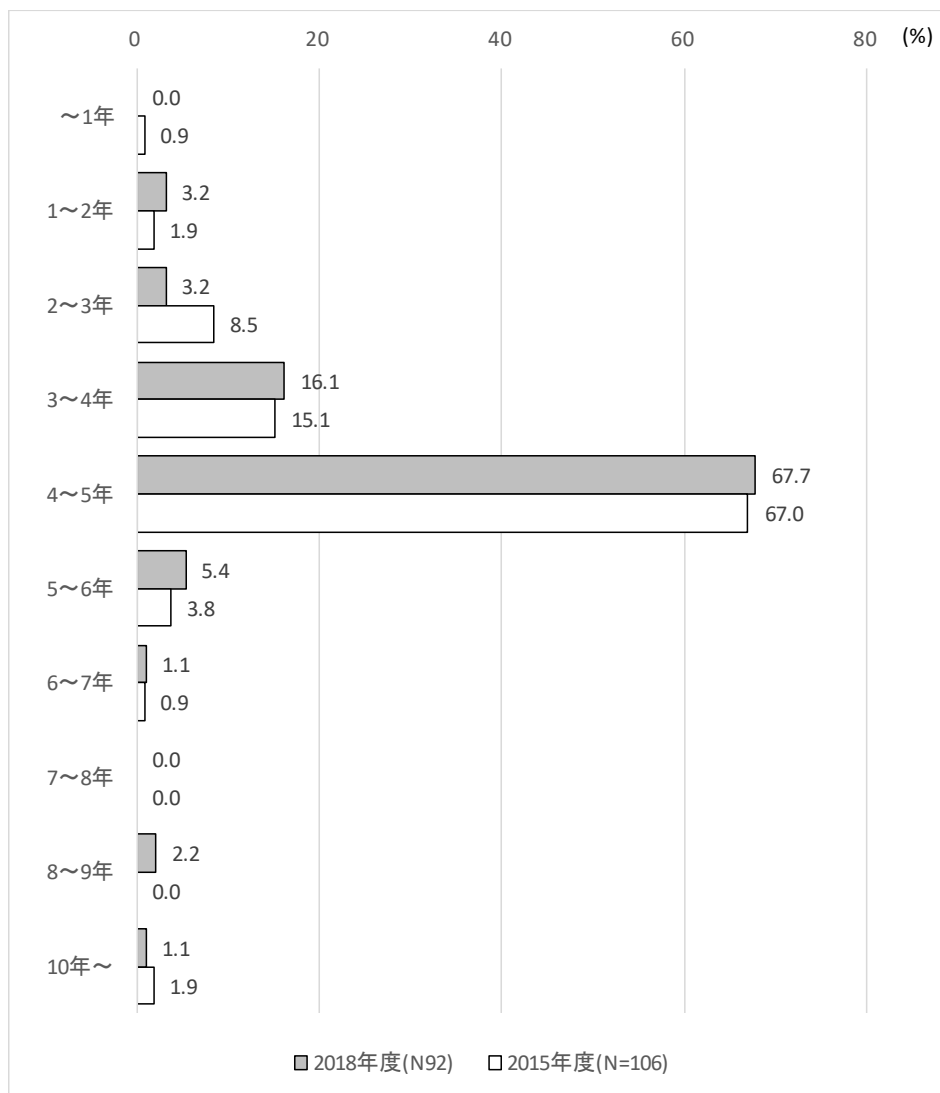
図表 5-3 障害者専用・優先スポーツ施設の指定管理者の団体



図表 5-4 障害者専用・優先スポーツ施設の指定管理者制度導入以前の運営状況



図表 5-5 障害者専用・優先スポーツ施設の最新の指定管理期間



6. 障害者専用・優先スポーツ施設の利用状況

(1) 総利用者数

障害者専用・優先スポーツ施設の利用状況を2012年度から2017年度までみると、付き添いなどを含めた総利用者数(のべ人数)は、700～870万人前後で遷移していた(図表6-1)。施設数が異なるため、単純な比較は難しいが、1施設当たりの付き添いなどを含めた利用者数は、約7.2万人であった。障害者専用・優先スポーツ施設の障害者の総利用者数(のべ人数)を2012年度から2017年度までみると、260万人前後で遷移していた。1施設当たりの障害者の利用は、約2.8万人であった。健常者と障害者の区別なく利用者数を把握している施設があるため単純な比較はできないが、障害者の利用よりも健常者(付き添いなどを含む)の利用のほうが多いことが推察される。

障害種別に障害者専用・優先スポーツ施設の利用状況をみると、「肢体不自由」の利用者が最も多く、ついで「知的障害」、「精神障害」、「視覚障害」だった。

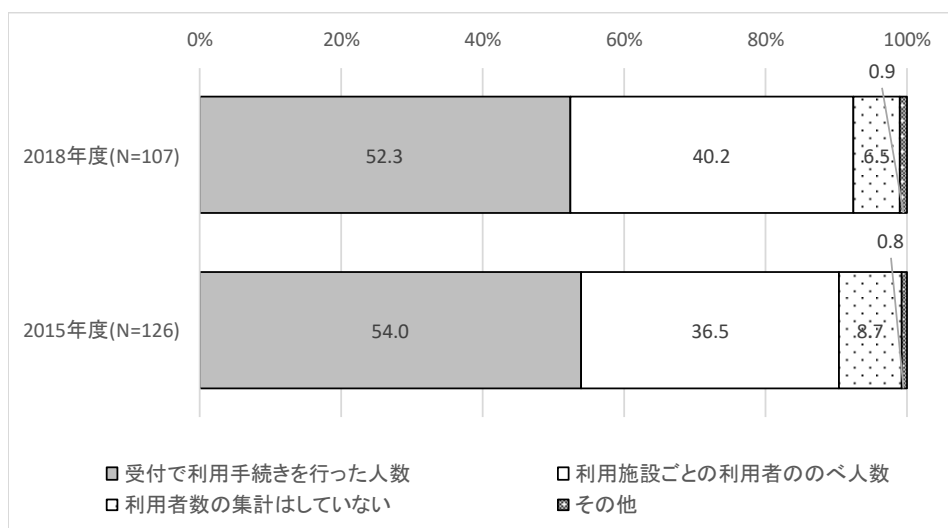
図表 6-1 障害者専用・優先スポーツ施設の利用状況(2012年度～2017年度)

		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	
総利用者	施設数	115	115	121	97	102	104	
	人数	8,472,975	8,553,796	8,660,261	7,080,142	7,192,108	7,248,744	
障害者の利用者	施設数	100	99	104	82	87	89	
	人数	2,665,735	2,689,194	2,777,075	2,472,042	2,492,319	2,483,573	
障害種別	肢体不自由	施設数	43	42	44	40	42	45
		人数	787,200	769,986	786,890	755,597	748,500	709,709
	視覚障害	施設数	39	39	40	35	37	40
		人数	106,452	105,941	109,805	105,007	104,444	102,101
	聴覚障害	施設数	37	37	39	36	38	41
		人数	77,374	81,783	91,249	91,730	82,363	85,665
	内部障害	施設数	34	34	34	29	30	32
		人数	58,304	63,984	67,976	62,775	64,833	69,524
	重複障害	施設数	15	15	17	11	11	12
		人数	46,142	41,134	50,166	29,795	29,577	28,613
	知的障害	施設数	40	39	40	36	37	39
		人数	492,393	497,058	534,944	548,321	533,954	520,504
	精神障害	施設数	35	34	37	31	32	35
		人数	107,967	116,050	129,116	110,599	120,244	133,517
	発達障害	施設数	9	10	10	8	8	11
		人数	10,058	12,165	10,507	7,188	7,660	13,545
	その他	施設数	20	20	22	20	20	22
		人数	79,957	78,297	82,110	125,543	115,368	114,852

(2) 施設利用者の集計方法

障害者専用・優先スポーツ施設の利用者数の集計方法をみると、「受付で利用手続きを行った人数を集計している」が約 5 割、「利用施設ごとの利用者ののべ人数を集計している」が約 4 割だった(図表 6-2)。

図表 6-2 障害者専用・優先スポーツ施設の施設利用者の集計方法



過去 3 年間(2015～2017 年度)で障害者の総利用者数が 10 万人を超えた施設は、「大阪市長居障がい者スポーツセンター」「障害者スポーツ文化センター(横浜ラポール)」「大阪市舞洲障がい者スポーツセンター(アミティ舞洲)」「東京都障害者総合スポーツセンター」「埼玉県障害者交流センター」「大阪府立障がい者交流促進センター(ファインプラザ大阪)」「京都市障害者スポーツセンター」であった(図表 6-3)。

図表 6-3 障害者専用・優先スポーツ施設の障害者の利用者数(10 万人以上)

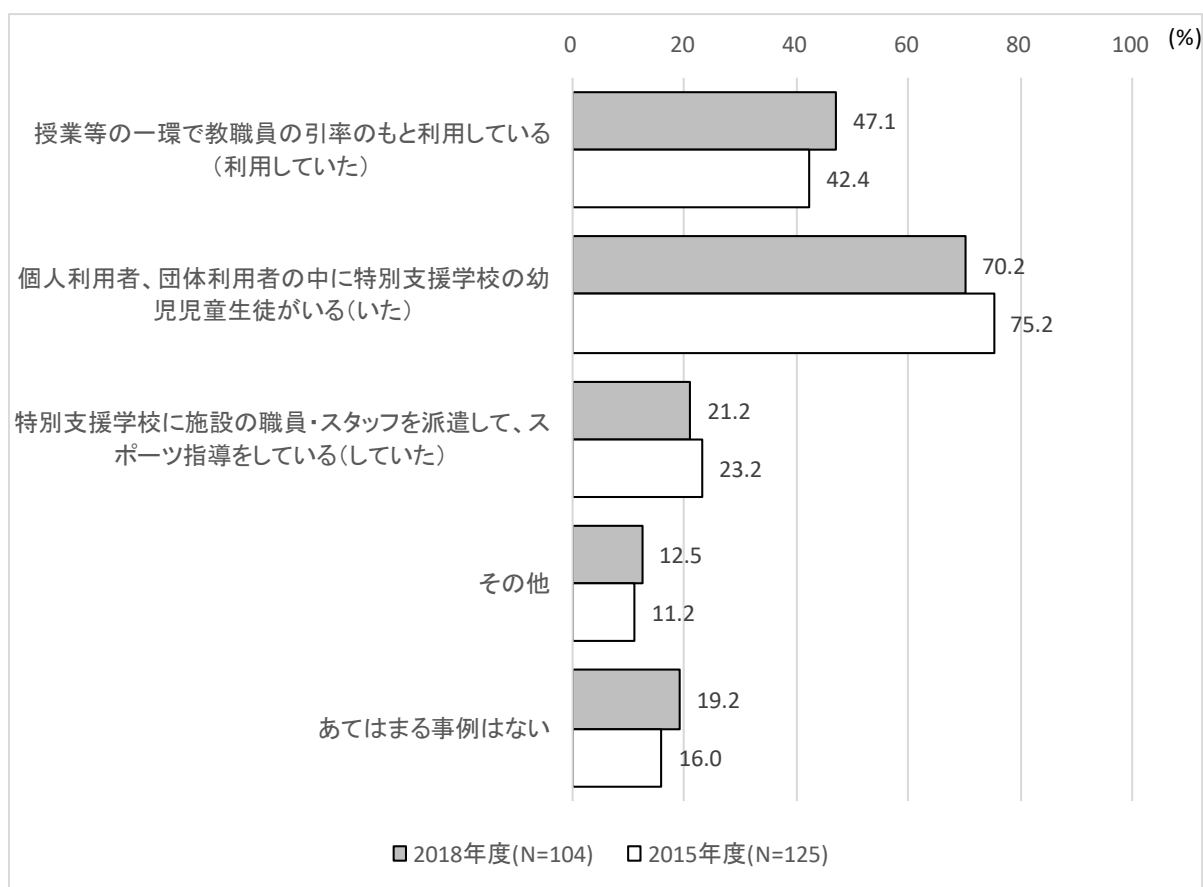
施設名	2015年度	2016年度	2017年度
大阪市長居障がい者スポーツセンター	265,322	245,750	250,511
障害者スポーツ文化センター(横浜ラポール)	227,078	223,603	219,448
大阪市舞洲障がい者スポーツセンター(アミティ舞洲)	158,697	163,394	164,838
東京都障害者総合スポーツセンター	153,451	127,466	71,635*
埼玉県障害者交流センター	128,812	142,276	116,395
大阪府立障がい者交流促進センター(ファインプラザ大阪)	118,880	128,031	110,096
京都市障害者スポーツセンター	104,897	103,790	106,016

※東京都障害者総合スポーツセンターは、2017 年度は施設改修のため、仮設にて運営

(3) 利用者の利用状況

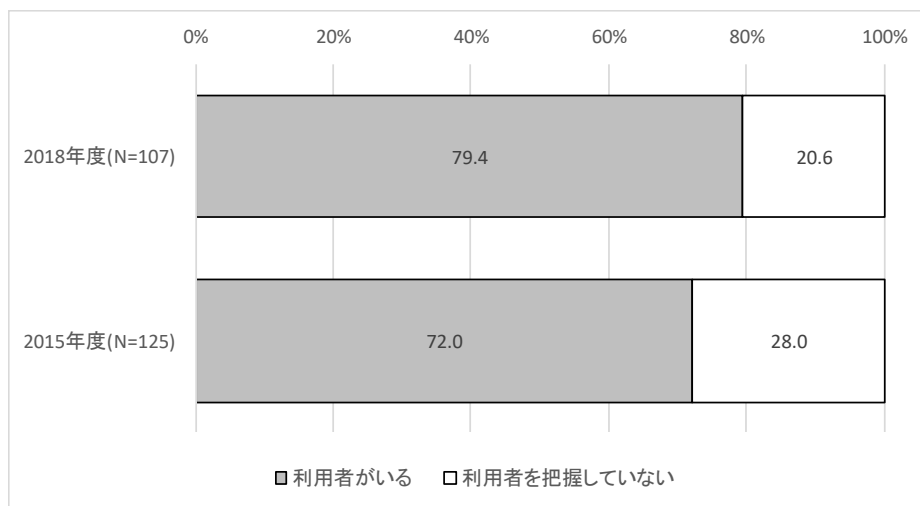
過去3年間(2015～2017年度)の障害者専用・優先スポーツ施設における特別支援学校の幼児児童生徒の利用状況についてみると、「個人利用者、団体利用者の中に、特別支援学校の幼児児童生徒がいる(いた)」が70.2%と最も多く、ついで「授業等の一環で教職員の引率のもと利用している(利用していた)」が47.1%、「特別支援学校に施設の職員・スタッフを派遣して、スポーツ指導をしている(していた)」が21.2%だった(図表6-4)。

**図表 6-4 障害者専用・優先スポーツ施設における
特別支援学校の幼児児童生徒の利用状況(複数回答)**



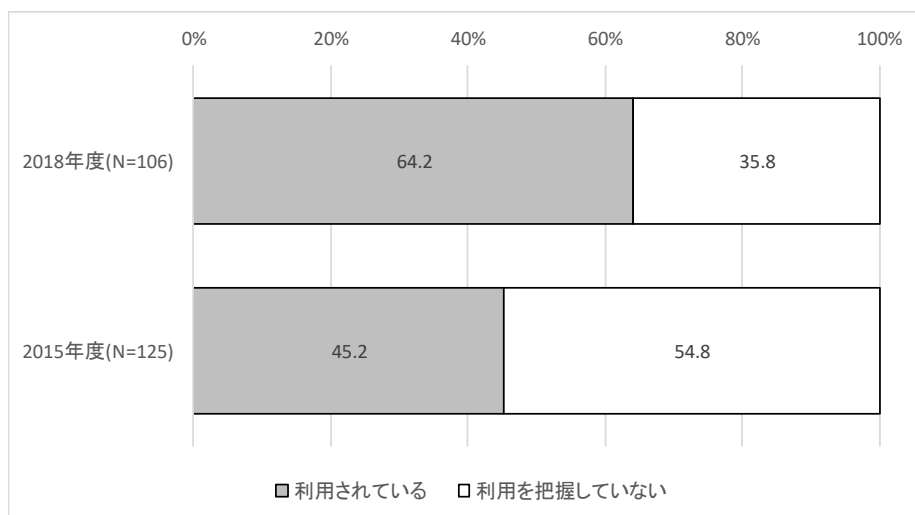
過去3年間(2015～2017 年度)の障害者専用・優先スポーツ施設における移動支援や同行援護の福祉サービスを利用した利用者の実態についてみると、「利用者がいる」が約 8 割であった(図表 6-5)。2015 年度調査と比べると微増であった。

**図表 6-5 障害者専用・優先スポーツ施設における
移動支援や同行援護の福祉サービスの利用者の実態**



過去3年間(2015～2017 年度)の障害者専用・優先スポーツ施設における放課後等デイサービス事業での利用状況についてみると、64.2%で利用していた(図表 6-6)。2015 年度調査の 45.2%から大きく増加した。

**図表 6-6 障害者専用・優先スポーツ施設における
放課後等デイサービス事業での利用状況**

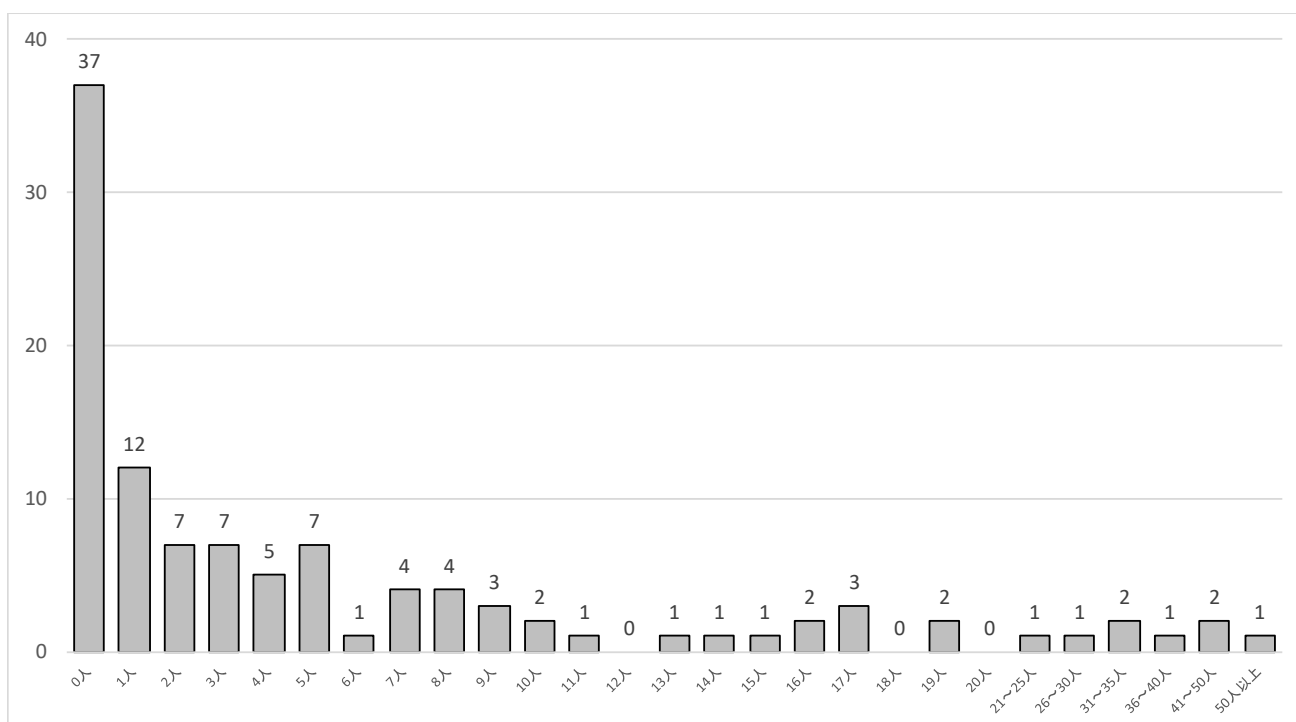


7. スポーツ指導者の配置状況

(1) 有給または有償のスポーツ指導者数

障害者専用・優先スポーツ施設における有給または有償のスポーツ指導者数についてみると、71施設(65.7%)で1人以上の有給または有償のスポーツ指導者がいることがわかった(図表7-1)。1人以上の有給または有償のスポーツ指導者がいる施設における指導者数の平均は9.8人であった。最も多い指導者数は55人であった(図表7-2)。

図表 7-1 障害者専用・優先スポーツ施設における
有給または有償のスポーツ指導者数(N=108)



図表 7-2 障害者専用・優先スポーツ施設における
有給または有償のスポーツ指導者数(N=71)

(人)

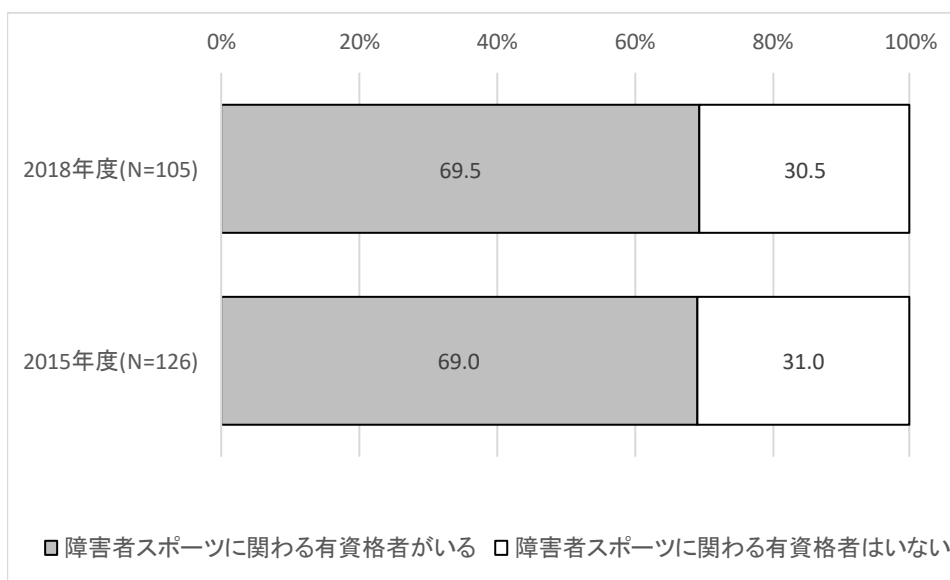
		N	平均 指導者数	最大 指導者数	最小 指導者数
合 計		71	9.8	55	1
内 訳	正 規 雇 用 者	56	4.8	24	1
	契 約 / 嘱 託 職 員	48	3.1	14	1
	出 向	1	3.0	3	-
	ア ル バ イ ト	17	10.2	35	1
	そ の 他	15	6.6	22	1

※図表 7-1 で有給または有償のスポーツ指導者数が1人以上の施設が対象

(2) 障害者スポーツ指導に関わる有資格者の内訳

障害者スポーツ指導に関わる有資格者を配置している障害者専用・優先スポーツ施設についてみると、障害者スポーツ指導に関わる有資格者がいるのは、69.5%で 2015 年度調査との大きな違いはみられなかった(図表 7-3)。

図表 7-3 障害者専用・優先スポーツ施設における
障害者スポーツ指導に関わる有資格者の配置有無



障害者専用・優先スポーツ施設における障害者スポーツ指導に関わる有資格者の配置状況についてみると、「初級障がい者スポーツ指導員」を配置している施設は 82.2%で、平均指導者数は 3.0 人だった(図表 7-4)。「中級障がい者スポーツ指導員」を配置している施設は 49.3%で、平均指導者数 3.1 人、「上級障がい者スポーツ指導員」を配置している施設は 53.4%で、平均指導者数は 3.1 人だった。

**図表 7-4 障害者専用・優先スポーツにおける
障害者スポーツ指導に関わる有資格者の配置状況(N=73)**

(人)

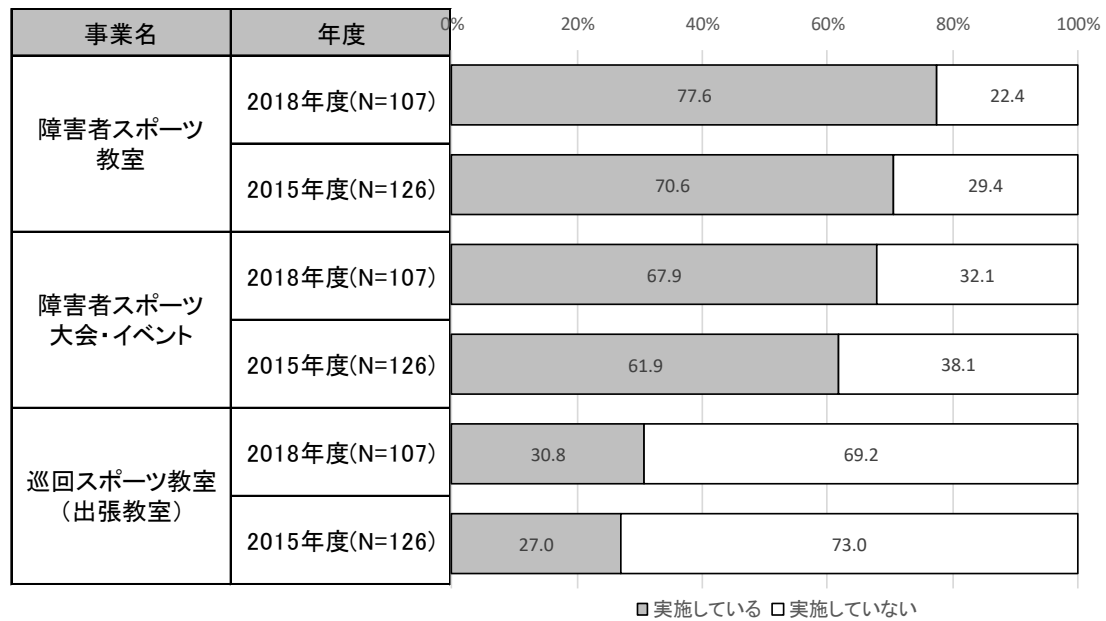
認定団体	資格名	2018年度(N=73)			2015年度(N=87)		
		N	%	平均人数	N	%	平均人数
日本障がい者スポーツ協会	初級障がい者スポーツ指導員	60	82.2	3.0	75	86.2	4.0
	中級障がい者スポーツ指導員	36	49.3	3.1	43	49.4	2.7
	上級障がい者スポーツ指導員	39	53.4	3.1	43	49.4	3.0
	障がい者スポーツコーチ	12	16.4	1.5	18	20.7	1.8
	障がい者スポーツトレーナー	2	2.7	1.0	0	0.0	0.0
日本レクリエーション協会	福祉レクリエーションワーカー	4	5.5	1.0	6	6.9	1.5
日本スポーツ協会	公認スポーツ指導者	11	15.1	1.5	20	23.0	1.9
その他		10	13.7	3.5	18	20.7	3.9

8. 障害者専用・優先スポーツ施設の実施事業

(1) 障害者専用・優先スポーツ施設の実施事業

障害者専用・優先スポーツ施設における実施事業のうち、「障害者スポーツ教室」「障害者スポーツ大会・イベント」「巡回スポーツ教室(出張教室)」について 2015 年度調査と比較すると、いずれの事業も増加していた(図表 8-1)。

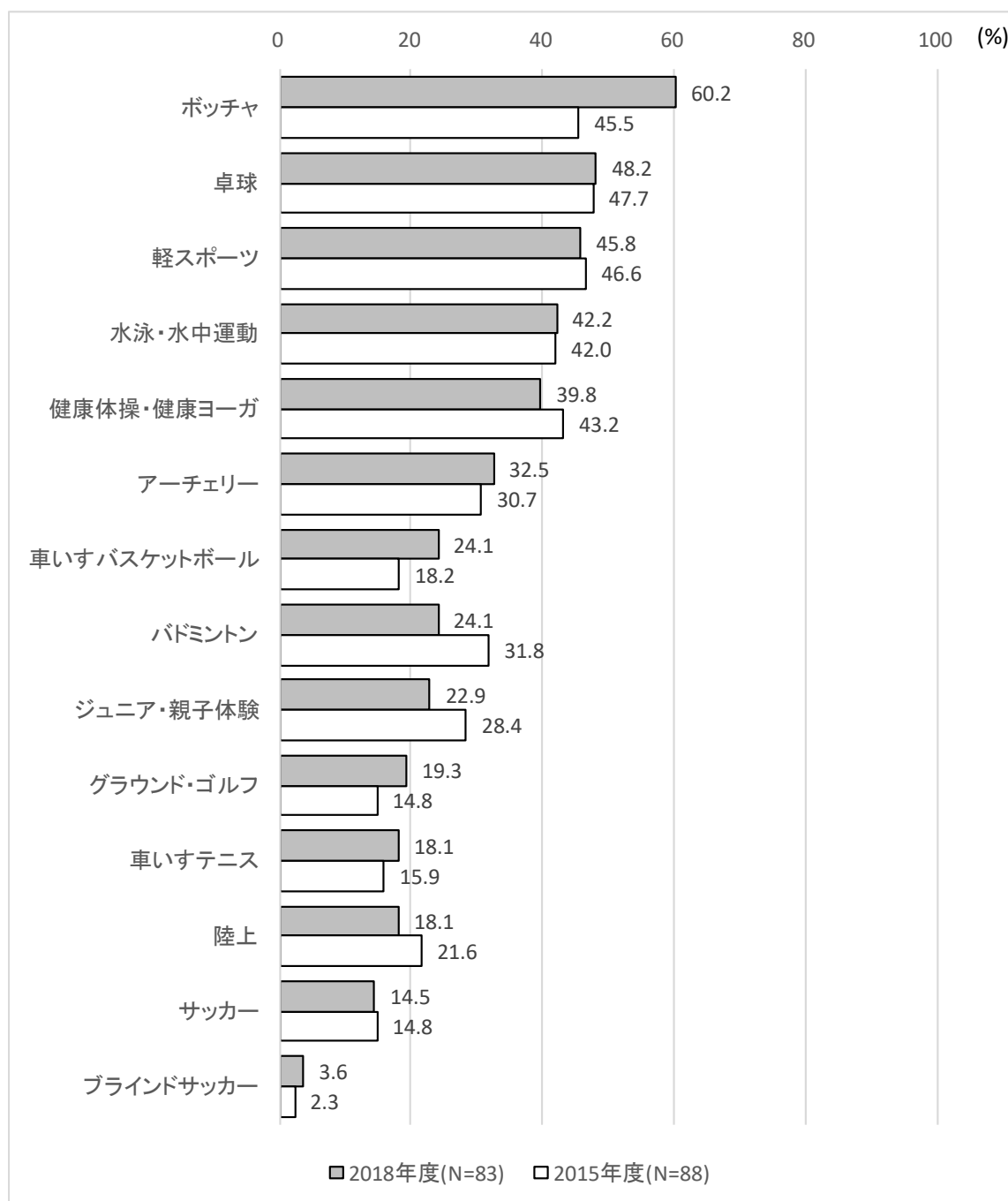
図表 8-1 障害者専用・優先スポーツ施設の実施事業



(2) 障害者スポーツ教室

障害者専用・優先スポーツ施設における障害者スポーツ教室の実施種目をみると、「ボッチャ」が60.2%と最も多く、ついで、「卓球」(48.2%)、「軽スポーツ」(45.8%)、「水泳・水中運動」(42.2%)、「健康体操・健康ヨガ」(39.8%)だった(図表 8-3)。2015 年度調査と比べると、障害者スポーツ教室で「ボッチャ」を実施する施設が増加した。

図表 8-3 障害者専用・優先スポーツにおける障害者スポーツ教室の実施種目



障害者専用・優先スポーツ施設における障害者スポーツ教室の主な教室内容ごとに参加している障害者を障害種別にみると、多くの障害者スポーツ教室で「肢体不自由」「知的障害」が参加していた(図表 8-4)。「視覚障害」では「水泳・水中運動」(71.4%)、「精神障害」では「水泳・水中運動」(74.3%)、「卓球」(70.0%)の教室への参加が多かった。

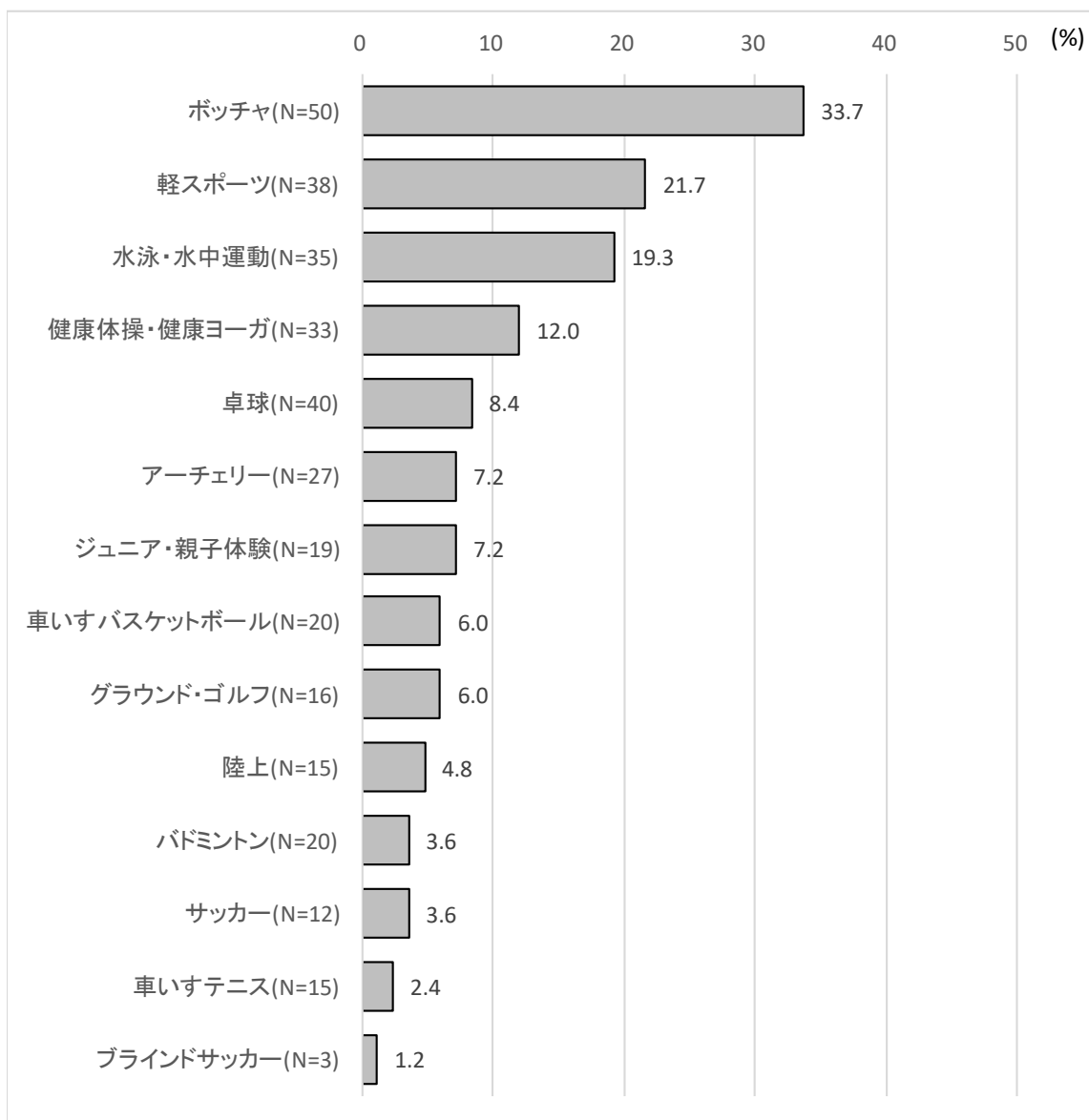
図表 8-4 障害者専用・優先スポーツ施設における
障害者スポーツ教室に参加している障害者の障害種別

(%)

実施している 主な教室内容	N	肢体 不自由	視 覚 障 害	聴 覚 障 害	内 部 障 害	知 的 障 害	精 神 障 害	発 達 障 害
ボッチャ	50	90.0	30.0	52.0	44.0	70.0	54.0	44.0
卓球	40	95.0	45.0	62.5	55.0	70.0	70.0	42.5
軽スポーツ	38	89.5	55.3	50.0	60.5	89.5	63.2	68.4
水泳・水中運動	35	94.3	71.4	65.7	62.9	88.6	74.3	77.1
健康体操・健康ヨーガ	33	84.8	57.6	63.6	66.7	66.7	66.7	63.6
アーチェリー	27	92.6	14.8	51.9	48.1	29.6	25.9	14.8
車いすバスケットボール	20	100.0	-	5.0	10.0	5.0	10.0	5.0
バドミントン	20	90.0	20.0	50.0	40.0	70.0	65.0	45.0
ジュニア・親子体験	19	63.2	31.6	31.6	15.8	89.5	42.1	73.7
グラウンド・ゴルフ	16	81.3	37.5	56.3	56.3	50.0	43.8	31.3
車いすテニス	15	100.0	-	6.7	6.7	13.3	13.3	-
陸上	15	73.3	53.3	53.3	26.7	86.7	53.3	60.0
サッカー	12	33.3	8.3	25.0	8.3	75.0	33.3	50.0
ブラインドサッカー	3	-	66.7	33.3	-	-	-	-

障害者専用・優先スポーツ施設における障害者スポーツ教室に参加している重度障害者²の教室内容をみると、「ボッチャ」が 33.7%と最も多く、ついで「軽スポーツ」(21.7%)、「水泳・水中運動」(19.3%)だった(図表 8-5)。

**図表 8-5 障害者専用・優先スポーツ施設における
障害者スポーツ教室での重度障害者の参加している教室内容**

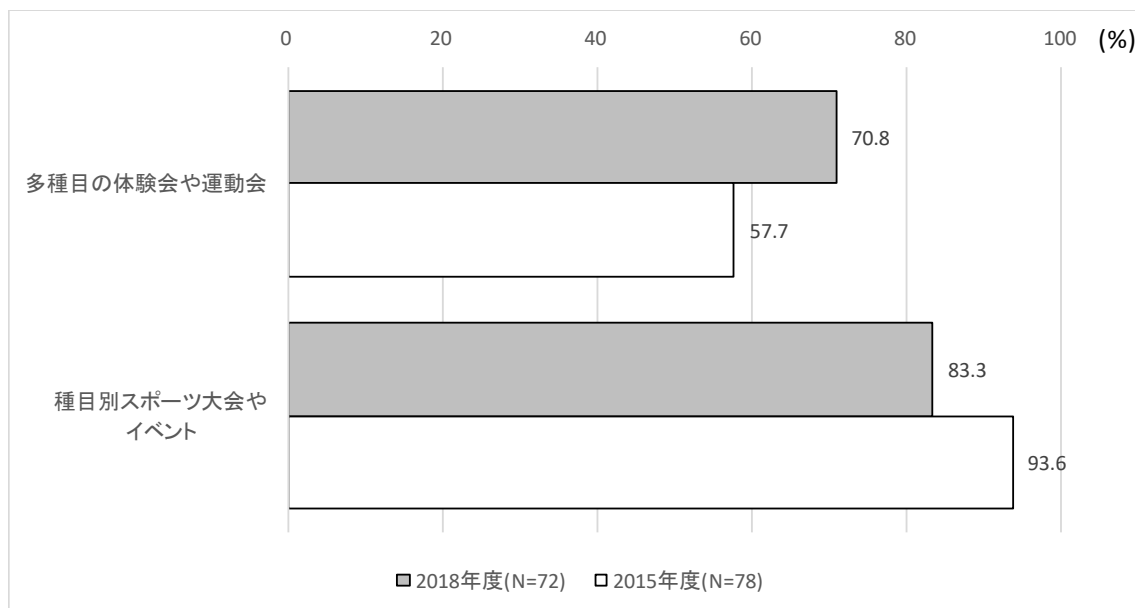


² 重度障害者の定義は各施設の回答者の判断による。

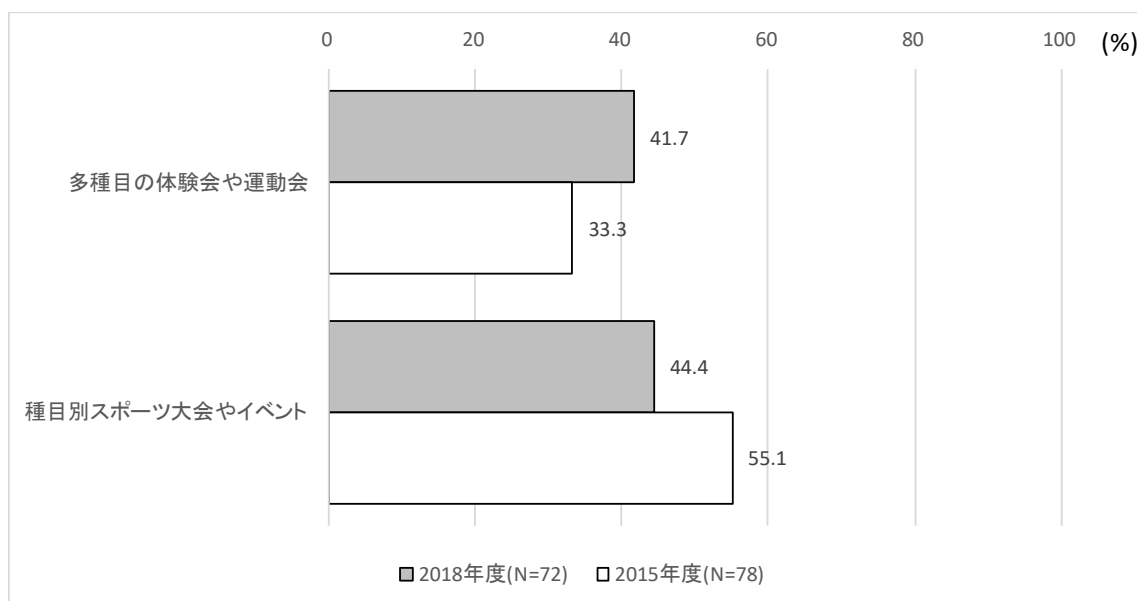
(3) 障害者スポーツ大会・イベント

障害者専用・優先スポーツ施設における障害者スポーツ大会やイベントの実施内容についてみると、「多種目の体験会や運動会」は 2015 年度調査と比べて増加している一方で、「種目別スポーツ大会やイベント」は減少した(図表 8-6)。重度障害者の参加状況についても同様の傾向がみられた(図表 8-7)。

**図表 8-6 障害者専用・優先スポーツ施設における
障害者スポーツ大会やイベントの実施内容**

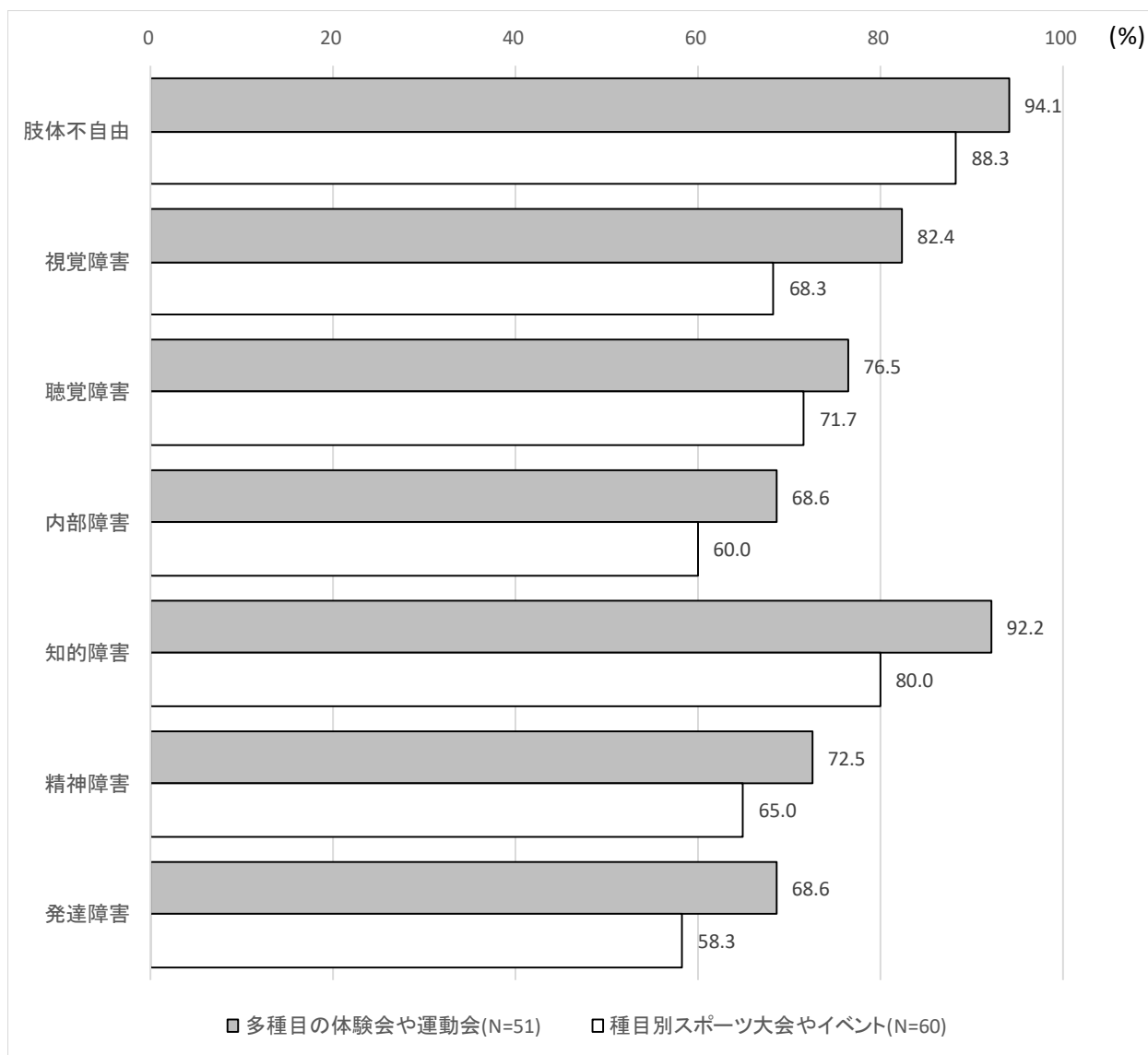


**図表 8-7 障害者専用・優先スポーツ施設における
障害者スポーツ大会やイベントの重度障害者の参加状況**



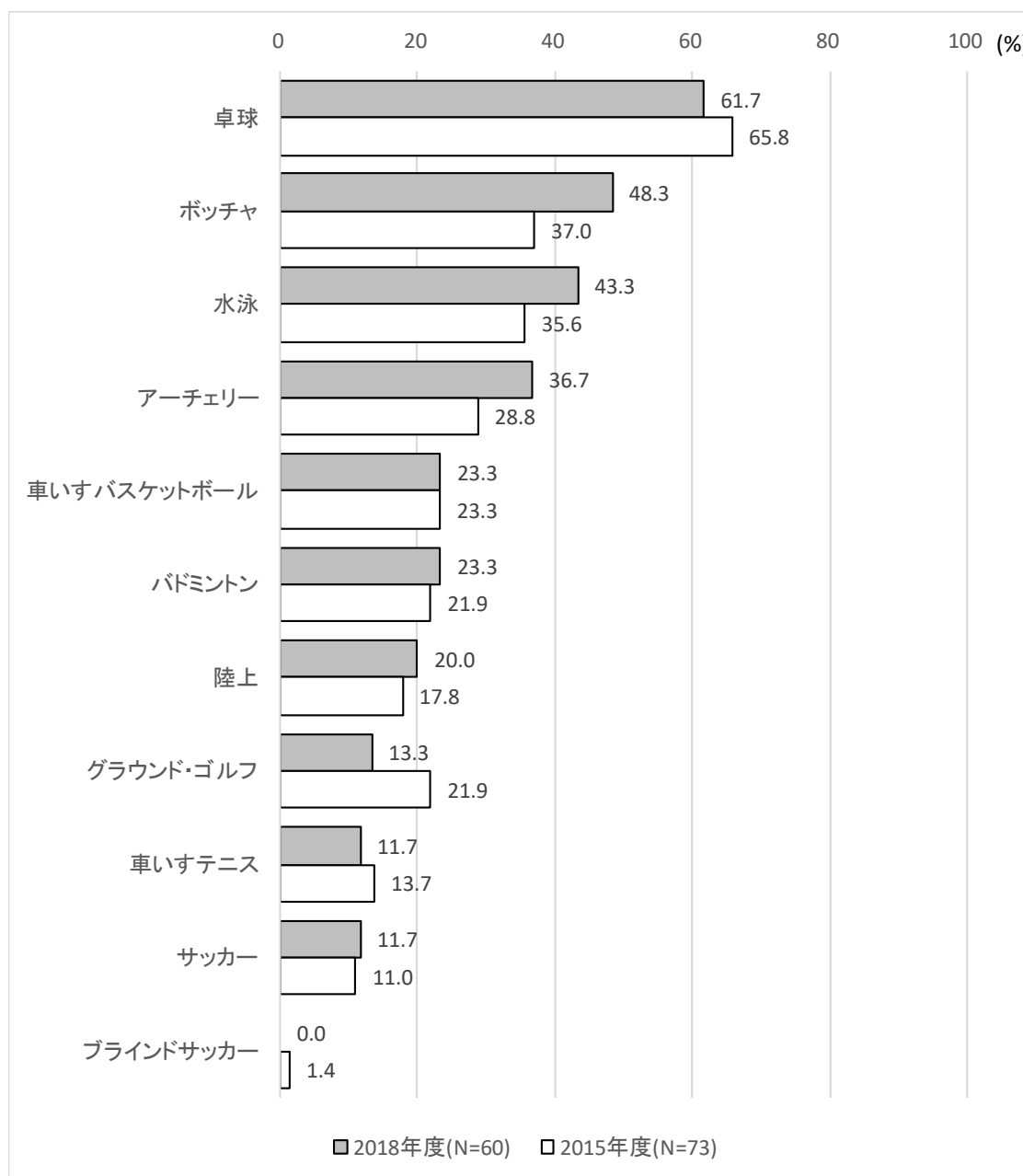
障害者専用・優先スポーツ施設における障害者スポーツ大会やイベントに参加している障害者を障害種別についてみると、「多種目の体験会や運動会」では、「肢体不自由」「知的障害」「視覚障害」が多く、「種目別スポーツ大会やイベント」では、「肢体不自由」「知的障害」が多かった(図表 8-8)。

図表 8-8 障害者専用・優先スポーツ施設における
障害者スポーツ大会やイベントに参加している障害者の障害種別



障害者専用・優先スポーツ施設における種目別スポーツ大会やイベントの実施内容についてみると、「卓球」が 61.7%と最も多く、ついで、「ボッチャ」(48.3%)、「水泳」(43.3%)、「アーチェリー」(36.7%)だった(図表 8-9)。2015 年度調査と比較すると、「ボッチャ」「水泳」「アーチェリー」が増加し、「グラウンド・ゴルフ」が減少傾向にあった。

図表 8-9 障害者専用・優先スポーツ施設における種目別スポーツ大会やイベントの実施内容



障害者専用・優先スポーツ施設における種目別スポーツ大会やイベント内容ごとに参加している障害者を障害種別にみると、ほとんどの種目において「肢体不自由」の参加が多かった(図表 8-10)。「視覚障害」「聴覚障害」では「水泳」「陸上」、「知的障害」では「バドミントン」「陸上」「水泳」、「精神障害」では「水泳」への参加が多かった。

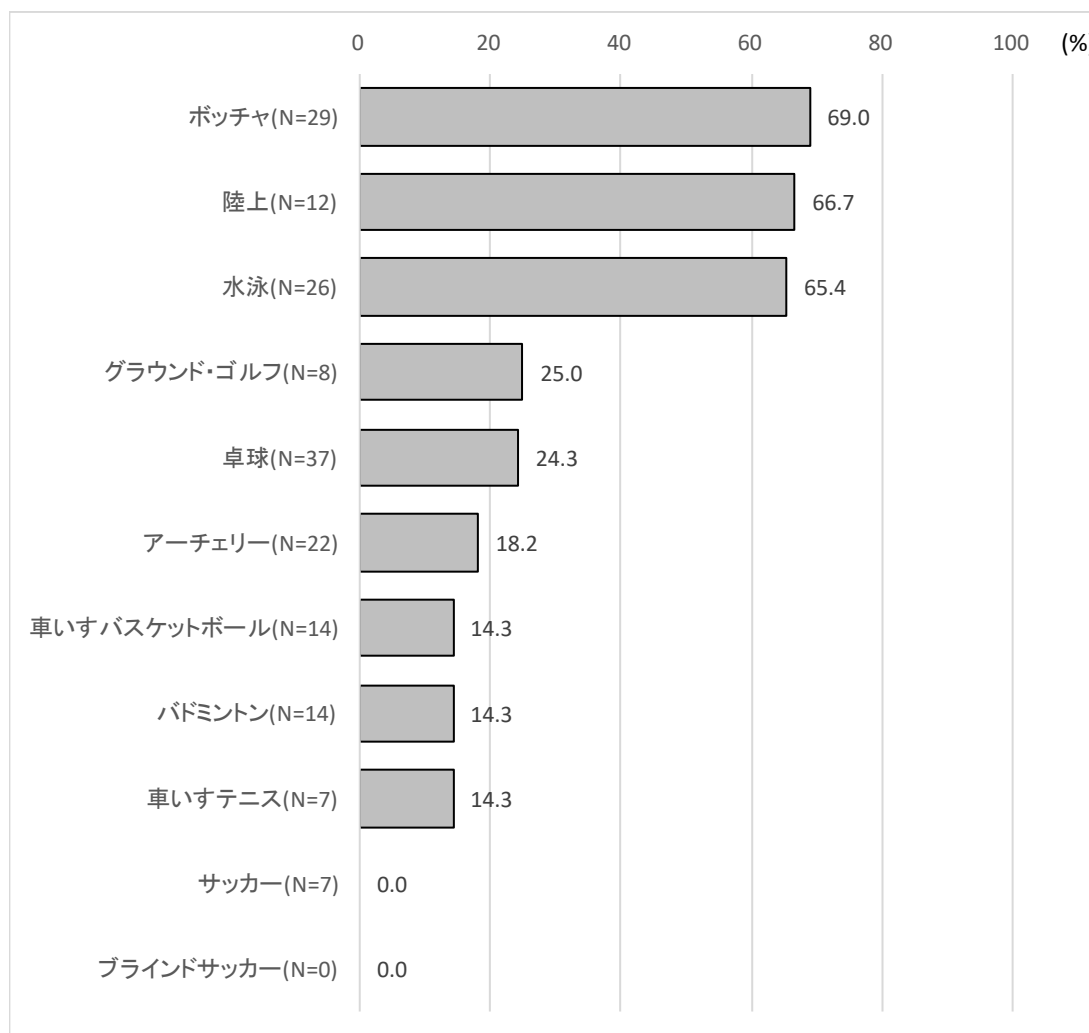
図表 8-10 障害者専用・優先スポーツ施設における
種目別スポーツ大会やイベント内容ごとに参加している障害者の障害種別

(%)

実施している 主な大会・イベント内容	N	肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	内部障害	知的障害	精神障害	発達障害
卓球	37	91.9	59.5	75.7	56.8	73.0	62.2	48.6
ボッチャ	29	89.7	37.9	44.8	51.7	65.5	55.2	55.2
水泳	26	96.2	88.5	88.5	65.4	88.5	80.8	69.2
アーチェリー	22	95.5	18.2	63.6	45.5	22.7	22.7	4.5
車いすバスケットボール	14	100.0	-	14.3	7.1	35.7	14.3	14.3
バドミントン	14	92.9	7.1	71.4	50.0	92.9	78.6	64.3
陸上	12	100.0	83.3	83.3	83.3	91.7	75.0	75.0
グラウンド・ゴルフ	8	87.5	25.0	75.0	75.0	75.0	37.5	50.0
車いすテニス	7	100.0	-	-	-	-	-	-
サッカー	7	28.6	-	-	-	57.1	42.9	28.6
ブラインドサッカー	0	-	-	-	-	-	-	-

障害者専用・優先スポーツ施設における種目別スポーツ大会やイベントの実施内容ごとに参加している重度障害者をみると、「ボッチャ」が 69.0%で最も多く、ついで「陸上」(66.7%)、「水泳」(65.4%)だった(図表 8-11)。

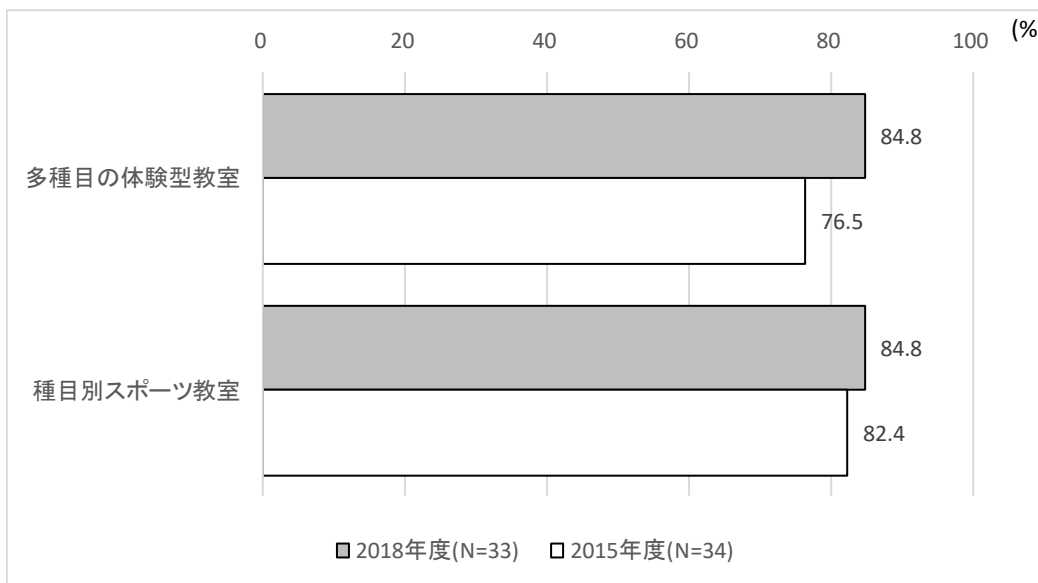
図表 8-11 障害者専用・優先スポーツ施設における
種目別スポーツ大会やイベント実施内容ごとに参加している重度障害者



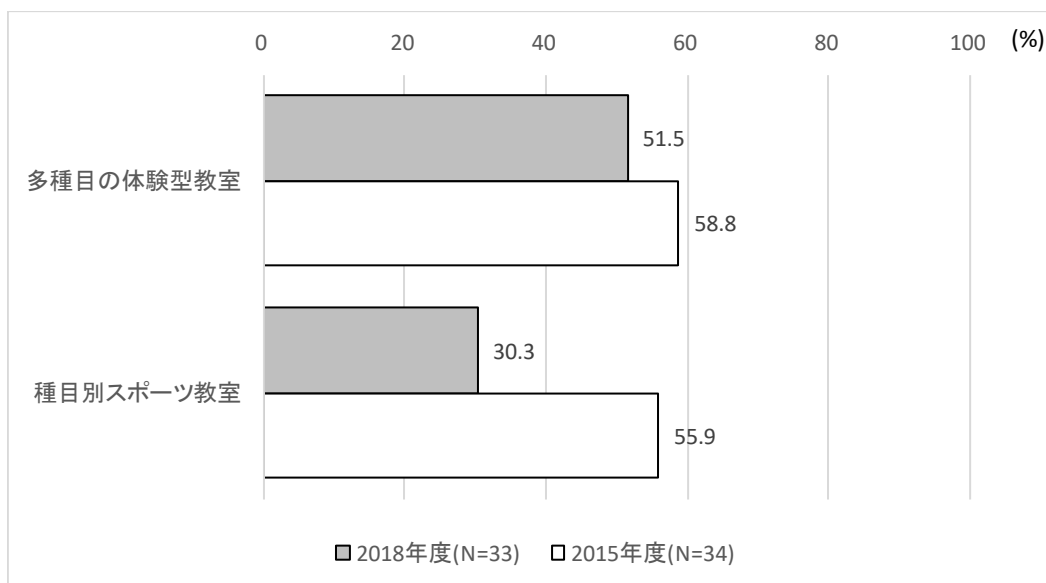
(4) 巡回スポーツ教室(出張教室)の実施状況

障害者専用・優先スポーツ施設における巡回スポーツ教室(出張教室)の実施内容についてみると、2015年度調査と比べ、「多種目の体験型教室」「種目別スポーツ教室」ともに増加した(図表 8-12)。一方で、重度障害者の参加状況をみると、「多種目の体験型教室」「種目別スポーツ教室」ともに、2015年度調査よりも減少した(図表 8-12)。

図表 8-12 障害者専用・優先スポーツ施設における巡回スポーツ教室(出張教室)の実施状況

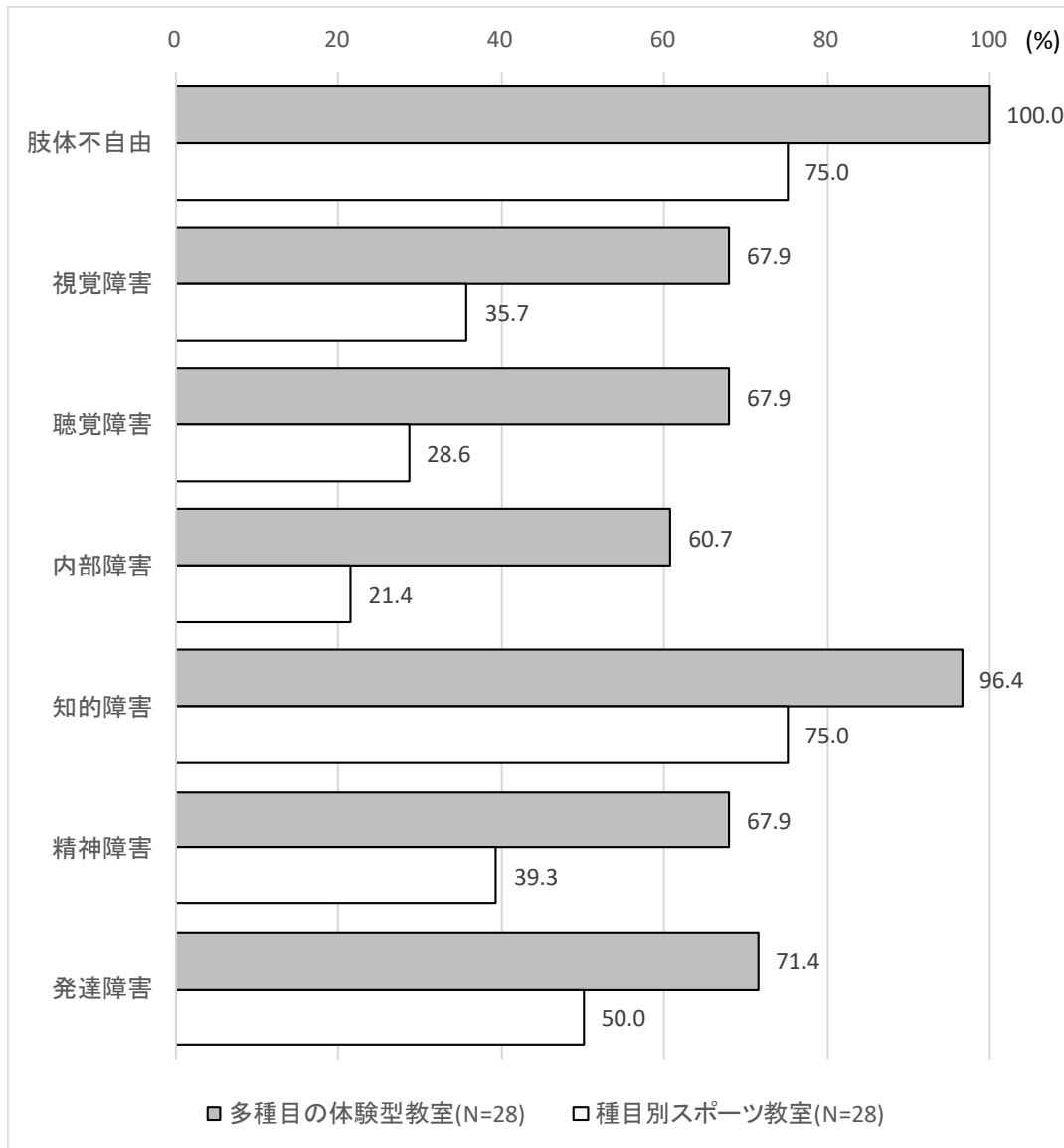


図表 8-13 障害者専用・優先スポーツ施設における巡回スポーツ教室(出張教室)への重度障害者の参加状況



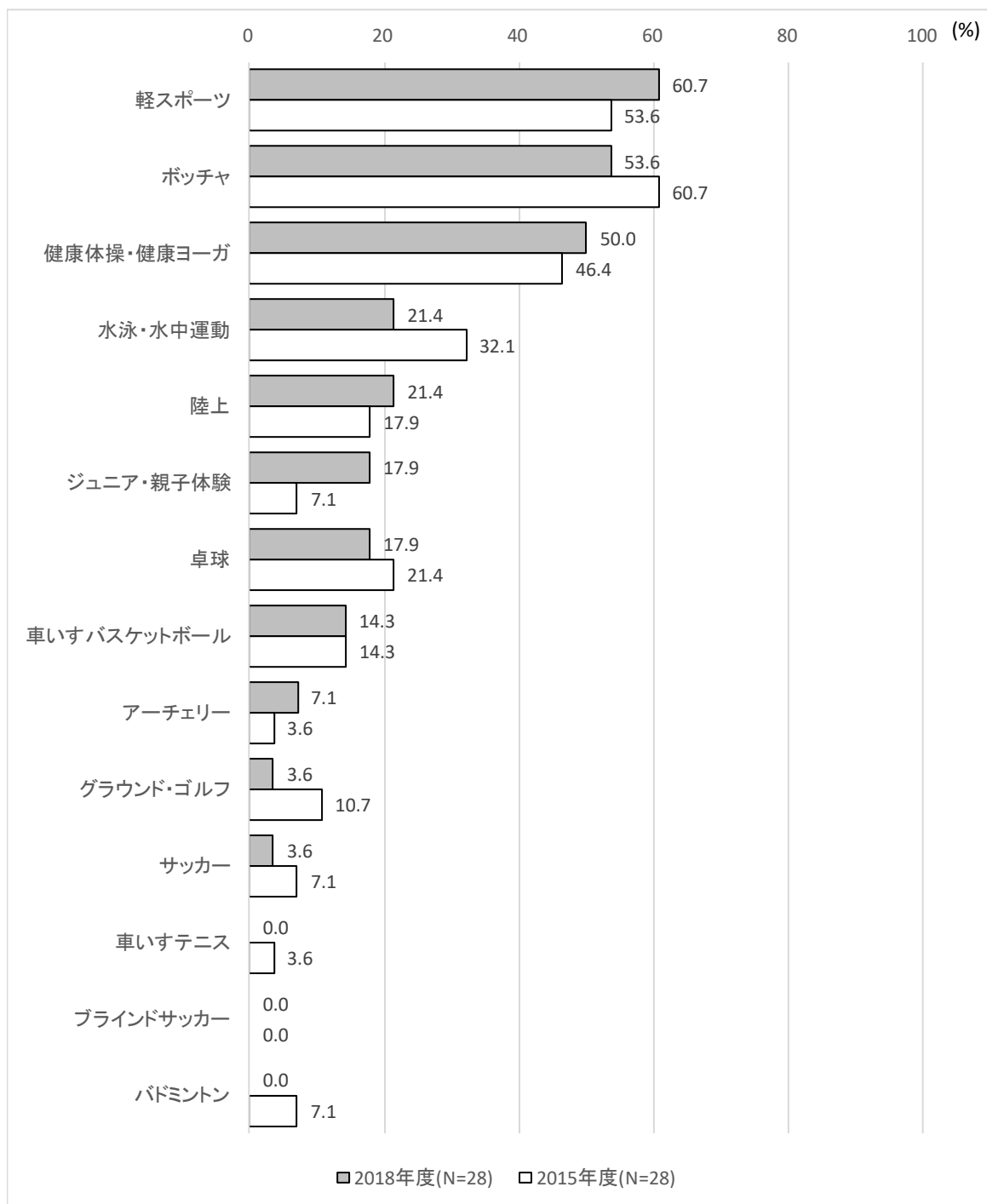
障害者専用・優先スポーツ施設における巡回スポーツ教室(出張教室)に参加している障害者を障害種別にみると、「多目的の体験型教室」「種目別スポーツ教室」ともに、「肢体不自由」と「知的障害」の参加が多かった(図表 8-14)。

図表 8-14 障害者専用・優先スポーツ施設における巡回スポーツ教室(出張教室)に参加している障害者の障害種別



障害者専用・優先スポーツ施設における巡回スポーツ教室(出張教室)の実施内容についてみると、「軽スポーツ」が 60.7%と最も多く、ついで「ボッチャ」(53.6%)、「健康体操・健康ヨーガ」(50.0%)だった(図表 8-15)。2015 年度調査と比べると、「軽スポーツ」「健康体操・健康ヨーガ」では増加、「ボッチャ」「水泳・水中運動」では減少した。

図表 8-15 障害者専用・優先スポーツ施設における巡回スポーツ教室(出張教室)の実施内容



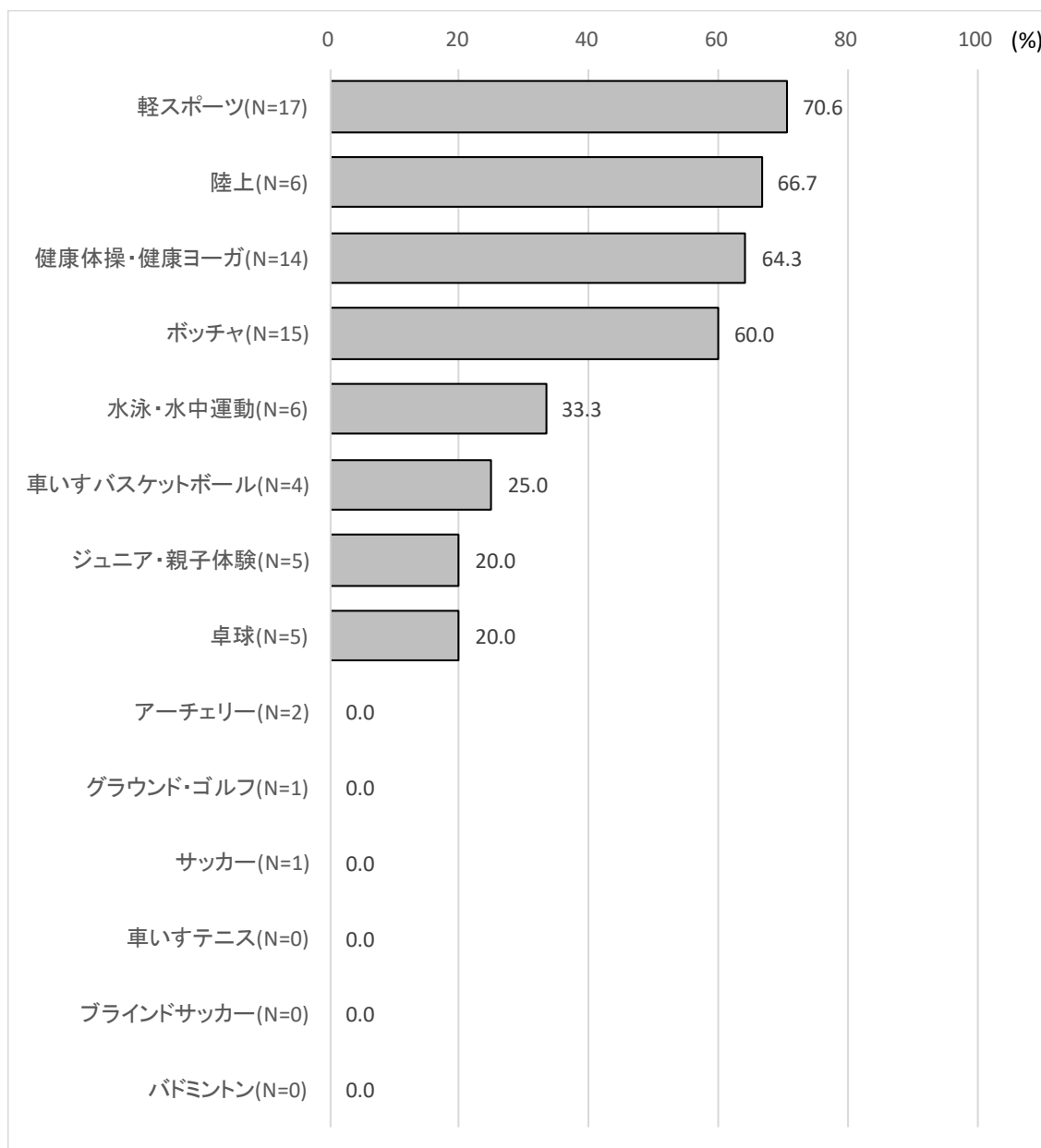
障害者専用・優先スポーツ施設における巡回スポーツ教室(出張教室)の実施内容ごとに参加している障害者を障害種別にみると、ほとんどの種目で「肢体不自由」が多かった(図表 8-16)。「視覚障害」「聴覚障害」では「水泳・水中運動」「軽スポーツ」、「知的障害」では「健康体操・健康ヨガ」「水泳・水中運動」「ジュニア・親子体操」、「精神障害」では「健康体操・健康ヨガ」「軽スポーツ」への参加が多かった。

図表 8-16 障害者専用・優先スポーツ施設における巡回スポーツ教室(出張教室)の実施内容ごとに参加している障害者の障害種別

実施している 主な教室内容	N	(%)						
		肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	内部障害	知的障害	精神障害	発達障害
軽スポーツ	17	94.1	82.4	70.6	58.8	94.1	82.4	82.4
ボッチャ	15	93.3	40.0	40.0	26.7	73.3	40.0	33.3
健康体操・健康ヨガ	14	100.0	71.4	57.1	64.3	100.0	92.9	71.4
水泳・水中運動	6	100.0	100.0	83.3	50.0	100.0	66.7	100.0
陸上	6	83.3	16.7	-	-	83.3	50.0	50.0
ジュニア・親子体験	5	60.0	20.0	20.0	20.0	100.0	20.0	100.0
卓球	5	60.0	40.0	40.0	60.0	60.0	60.0	40.0
車いすバスケットボール	4	100.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	50.0
アーチェリー	2	100.0	-	100.0	50.0	-	-	-
グラウンド・ゴルフ	1	100.0	-	-	-	-	-	-
サッカー	1	-	-	-	-	100.0	-	100.0
車いすテニス	0	-	-	-	-	-	-	-
ブラインドサッカー	0	-	-	-	-	-	-	-
バドミントン	0	-	-	-	-	-	-	-

障害者専用・優先スポーツ施設における巡回スポーツ教室(出張教室)に参加している重度障害者の実施内容についてみると、「軽スポーツ」が70.6%と最も多く、ついで陸上「66.7%」、「健康体操・健康ヨガ」(64.3%)、「ボッチャ」(60.0%)だった(図表 8-17)。

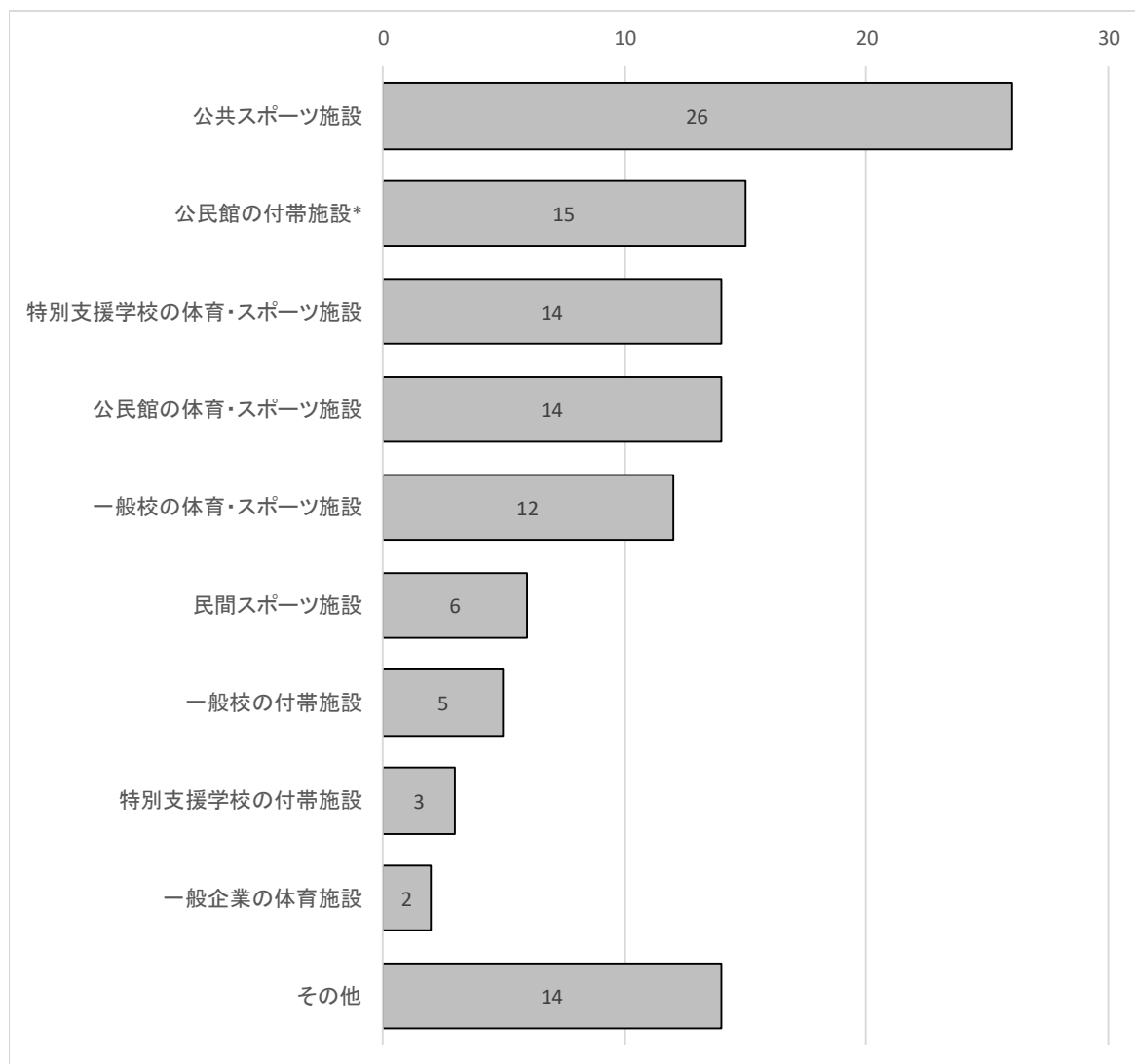
**図表 8-17 障害者専用・優先スポーツ施設における
巡回スポーツ教室(出張教室)に参加する重度障害者の実施内容**



(5) 巡回スポーツ教室(出張教室)の実施場所

障害者専用・優先スポーツ施設における巡回スポーツ教室(出張教室)の実施場所についてみると、「公共スポーツ施設」での実施が最も多く、ついで「公民館の付帯施設(公民館の体育・スポーツ施設を除く)」、「特別支援学校の体育・スポーツ施設」、「公民館の体育・スポーツ施設」であった(図表 8-18)。「その他」には、「福祉関連施設の付帯施設」「障害者福祉センターの付帯施設」などがあった。

図表 8-18 障害者専用・優先スポーツ施設における
巡回スポーツ教室(出張教室)の実施場所(N=33)

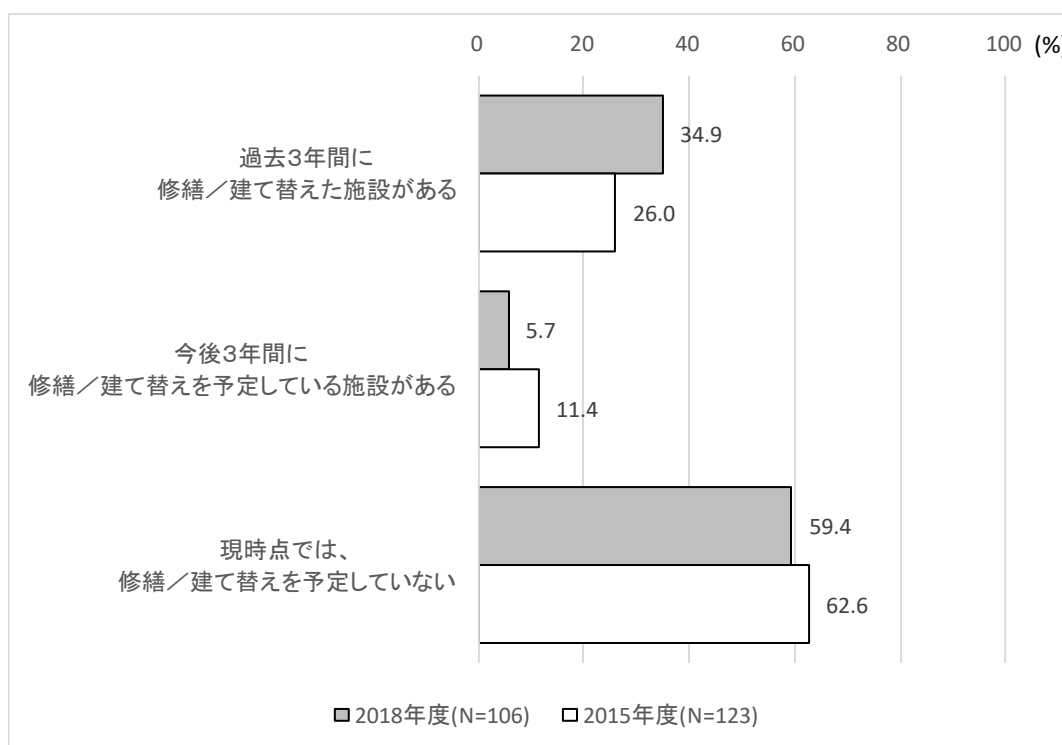


*付帯施設:本来の施設の目的以外の目的(運動・スポーツ)で使用している施設。(集会室、多目的室等)

9. 障害者専用・優先スポーツ施設の修繕・建て替え状況

障害者専用・優先スポーツ施設の修繕³や建て替え状況を見ると、「現時点では修繕／建て替えを予定していない」が約6割と最も多く、「過去3年間に修繕／建て替えた施設がある」が約3割だった(図表9-1)。「今後3年間に修繕／建て替えを予定している施設がある」という施設は5.7%であった。

図表9-1 障害者専用・優先スポーツ施設の修繕・建て替え状況



³ 本調査における修繕は、1ヵ月以上、施設利用を停止して実施する規模の修繕を指す。
(例)テニスコートのサーフェスの張り替えは修繕に含むが、ガラス破損修理、冷暖房修理は修繕には含まない。